

茅ヶ崎らしさの確認について(詳細)

平成30年1月

都市部景観みどり課
都市政策課

茅ヶ崎らしさに関する調査

茅ヶ崎のイメージや魅力

ひとが抱く茅ヶ崎のイメージと、イメージを構成する要素の関係性を整理。

調査名	実施時期	内容
市民満足度調査	21、24、26、 27、29年	市内在住の方に、茅ヶ崎の魅力、市政に対する満足度を調査
地域特性調査	29年3月	市民と市外の双方に共通の設問・選択肢を用いたアンケートを行い、茅ヶ崎の特性を他都市と比較し、茅ヶ崎のまちの性格を把握。
観光資源に関する調査	26年5月	市内外の方に、茅ヶ崎に対する印象や観光資源について把握
転入者アンケート	29年8月	5年以内に転入したファミリー世代、高齢世代を対象に、居住の意向、まちの魅力や課題を把握。
茅ヶ崎の印象やライフスタイルに関する調査	29年3月	ヒアリング、WEBアンケート、メディア（雑誌、TV等）から、茅ヶ崎に関する印象やライフスタイルについて把握。

個別の調査（暮らし、移動、自然・みどり）

暮らし（日々の生活）、移動の特性、自然・みどりに関する調査から、特徴や課題等を整理。

調査名	実施時期	内容
市民討議会	29年7月	市内在住の方を無作為抽出により抽出し、「好きな場所」、「まちなかの移動」、「身近な自然、みどり」についてグループ討議を実施
転入者ヒアリング	29年8月	5年以内に転入したファミリー世代、高齢世代を対象に、転入理由や抱いていたイメージ、イメージギャップなどをインタビュー
教えて！好きな場所での過ごし方	29年1月	日ごろ、どんな場所で、どのような気持ちで過ごしているのかを、「いつ」、「どうやって（移動手段）」、「気分」、「好きな理由」を聞き、生活の実態やまちの特徴を把握。
移動特性（大都市交通センサス）	5年ごと	鉄道・バス等の利用実態や駅から自宅・勤務場所間の移動手段（端末交通手段）から移動の特性を把握。
自然、みどりに関する調査	29年3月	みどりを「守る」「増やす」「戻す」の視点で、満足度やニーズから、日々の生活で、どのようなみどりが大事に思っているか調査。

茅ヶ崎らしさに関する調査

生活の動向

人口や生活の時間等の変化を把握し、生活がどのように変化していくかを把握する。

調査名	実施時期	内容
昼間人口（国勢調査）	5年ごと	昼間の時間帯に市内にいる人口の推移を把握
従業・通学地（国勢調査、大都市交通センサス）	5年ごと	市内在住の方の従業、通学地を把握
1日の時間の使い方（社会生活基礎調査）	5年ごと	生活時間の配分や余暇時間における主な活動の状況など、国民の社会生活の実態を把握

参考

調査名	実施時期	内容
立地特性	—	東京近郊の都市を対象に都心までの時間距離から、まちの立地特性を調査
気候	—	気象観測所のデータより、月別の平均気温を把握（過去20年分）
近郊都市の地価	各年	都心までの時間距離が茅ヶ崎と概ね同じ都市で、住宅地の市場の動向を把握。

市民の市政に対する満足度や重点を置くべき政策分野、市政やまちづくりに対する意見などを把握し、『茅ヶ崎市総合計画基本構想』の進行管理のための基礎資料を作成することを目的に実施

調査項目

基本的属性等（性別、年齢、職業、居住年数、居住地区、まちづくりや市政への関心度）、運動の頻度、かかりつけ医の有無、広報媒体、市役所の窓口利用、子どもたちの成長を促す活動、子どもたちの成長を促すもの、市の魅力、住みやすさ、定住意向、移り住みたい理由（移住意向の限定）、市政やまちの「満足度」と今後の取り組みとしての「重要度」（50項目）、目指すべき将来像、今後の市政やまちづくりについての意見（自由記述）

調査手法： アンケート配布

対象者： 市内に居住する満16歳以上の男女

回答数： 約1,500人(3,000人に配布)

実施年： 過去5回実施(21、24、26、27、29年)

- 茅ヶ崎市の地域特性を把握するため、隣接市や類似する都市を整理し、分析を実施。
- 隣接市や類似する都市の住民が、茅ヶ崎市及び比較対象都市をどのようにイメージしているのかを把握し、他地域と比較した茅ヶ崎の地域特性を整理。

都市名		規模	比較対象	
茅ヶ崎市		239,874 人		
近隣	藤沢市	420,254 人	○	近隣都市
	鎌倉市	172,220人	○	湘南エリアで観光の魅力が高い地域
類似	東京都府中市	260,274人	○	住みやすい街のイメージとネームバリューがある
	栃木県那須塩原市	116,833人	○	観光資源があり、遠距離通勤も可能な地域
	長野県軽井沢町	19,769 人	○	別荘地、東京から75分圏

調査手法 :WEB調査

調査期間 :2016年11月30日(水)～12月6日(火)

回収サンプル数 :市内400名、市外500名

地域 :東京都・埼玉県・群馬県・栃木県・山梨県・静岡県・神奈川県

	全体	男性					女性				
		20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代
茅ヶ崎市	400	8	21	63	60	59	8	38	61	57	25
東京都	195	4	16	28	32	20	8	26	35	17	9
神奈川県（茅ヶ崎市以外）	144	3	5	19	17	23	6	16	30	20	5
埼玉県	89	0	7	11	14	10	7	15	17	4	4
群馬県・栃木県	42	0	1	8	4	7	4	7	7	3	1
山梨県・静岡県	30	0	7	8	5	1	3	2	2	0	2

理想とするライフスタイルや暮らしの中で大切にしたいものを調査

調査手法：直接ヒアリング、WEBアンケート

実施日：平成29年3月

サンプル数

直接ヒアリング：133名（市内：66名、市外67名）

WEBアンケート：619名（神奈川県（茅ヶ崎市を除く）、東京都、埼玉県、静岡県、山梨県）

テレビ番組、雑誌等などのメディアで、茅ヶ崎がどのように捉えられているか調査

調査手法：雑誌等のメディアの内容を閲覧。32雑誌からの中から、茅ヶ崎に関するキーワードを抽出。

実施日：平成29年3月

転入者アンケート

5年以内に転入したファミリー世代、高齢世代を対象に、居住の意向、まちの魅力や課題を把握。

実施日 : 平成29年8月

回答数 : 365人(対象者2,037人回収率17.9%)

転入者ヒアリング

5年以内に転入したファミリー世代、高齢世代を対象に、転入理由や抱いていたイメージ、イメージギャップなどをグループインタビュー方式で把握

実施日 : 平成29年8月

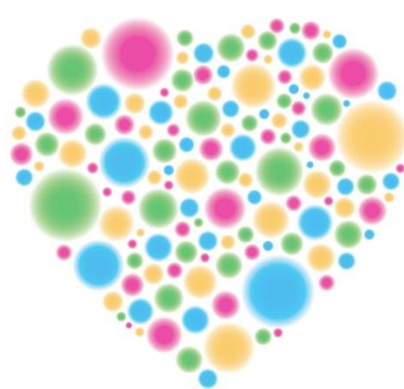
対象者 : 計8グループ、33名

(子どものいる30～40代の男性、女性各2グループ、50代以上の男性、女性各2グループ)

日ごろ、どんなところで、どのような気持ちで過ごしているのか、生活実態を把握する調査。
「いつ」、「移動手段」、「気分」、「理由」及び「思い出」を聞き、生活像、まちの特徴を把握

調査手法 : WEBアンケート、アンケート用紙配布
実施場所 : 市内公共施設、サポセン、まちスポ、POE
実施日 : 平成28年12月11日(日)～25日(日)
サンプル数 : 176サンプル

アンケート用紙



教えて！好きな場所での過ごし方

表

好きな場所での過ごし方を教えてください！！

市では、皆さんが好きな場所で、どのような時間を過ごしているのか調べています。
次のことをお聞かせいただき、備え付けのポストに投函して下さい。

場所はどこ？ 例) サザンビーチ、里山公園、〇〇というお店

いつ行く？ 例) 仕事が休みの日、昼間、夕方

どうやって行く？ 例) 歩いて、自転車、車

どんな気分になる？ 例) ホットする、ワクワクする、スッキリする

好きな理由は？ 例) 遊べるから、落ち着くから、何となく好き

そこでの思い出が何かあれば教えてください。(何でも結構です。)

例) 高校の友達をよく行った、ゼートをした、など

裏

基礎調査の結果を踏まえ、茅ヶ崎らしさを確認しつつ、
茅ヶ崎らしさを感じるための要素と「公共空間」、「自然・みどり」、「移動」について議論

実施日 29年7月30日(日) 9時40分～17時

参加者 市民の方(無作為抽出) 37名

テーマ 自分らしく生きるまち・茅ヶ崎の魅力
一日々の暮らしから好きな場所、身近な自然、まちなかでの移動を語り合うー

内容

1 魅力の確認(好きな場所)について

基礎調査の結果を基に、茅ヶ崎らしさを議論しつつ、市内の自分の好きな場所を
あげ、どう過ごしているか、どう過ごしたいかを議論

2 身近な自然、みどりについて

住んでいる周りの自然やみどりに焦点をあて、生活にどう関わりがあるのか
自然やみどりを楽しむために、どうあってほしいかを議論

3 まちなかでの移動について

好きな場所に行くまでの移動も楽しむために、そのルートがどのような環境だったら
より楽しむことができるかを議論

みどりに関するアンケート

みどりを「守る」「増やす」「戻す」の視点で、満足度やニーズから、日々の生活で、どのようなみどりが大事に思っているか調査。

調査手法：WEBアンケート、アンケート用紙配布
実施日：平成29年1月13日（金）～2月15日（水）
サンプル数：214サンプル（市内在住および在勤・在学者）

移動特性（大都市交通センサス）

鉄道・バス等の利用実態や駅から自宅・勤務場所間の移動手段（端末交通手段）から移動の特性を把握。

調査手法：鉄道、バス利用者に対するアンケート
実施日：5年ごと（過去5回：27、22、17、12、7年）

気候（気象観測所）

気象観測所のデータより、月別の平均気温を把握（過去20年分）

近郊都市の地価（地価公示）

国土交通省が公表している地価公示から、都心までの時間距離が茅ヶ崎と概ね同じ都市で住宅地の市場の動向を把握。

イメージや魅力の関係性

他都市との比較により、茅ヶ崎に抱かれているイメージを把握しつつ、そのイメージを醸成させる事項（魅力）は何かをアンケート結果から把握する。

魅力とされる事項の特徴と課題

イメージを醸成する事項（魅力）の特徴や構造を把握する。また、魅力を向上させるための課題を把握する。

生活の変化

人口や生活の時間等の変化を把握し、生活がどのように変化していくかを把握する。

今後のまちづくり（改定のポイント）

今後の社会において、茅ヶ崎が目指すべきまちづくりの考え方を整理し、茅ヶ崎の魅力を向上させるための要点を整理。

茅ヶ崎のイメージ 「自由な」、「明るい」、「ゆったりとした」

自然と都市が併せ持つ環境で生活している人の姿やまちの雰囲気から、
「自由な」、「明るい」、「ゆったりとした」といったイメージを醸成



「住み心地（居住環境が良い）」 自然と都市的機能を併せ持ち、気軽に行ける距離にある



「自然が豊か」

- ・海、里山などの自然環境が近くにあり、自然を感じて暮らせる。
- ・富士山、江の島など眺望も綺麗。

「交通の便」

- ・自転車や徒歩で行ける距離で物事（買い物、食事など）が済む
- ・東京、周辺都市（鎌倉、箱根など）に時間が掛からずに行ける。

「食が豊か」

- ・海の幸などが豊かというより、可能性として海の幸も含めて、食事ができる場所が身の回りにある。

生活の変化

高齢化（リタイヤ）や働き方の変化により、個人のために割く時間が徐々に増えていく

改定のポイント

防災・防犯などまちの安全・安心は、これまでと同様に重要である。
加えて、今後のまちづくりは、自然や街なかで活動しやすい環境を整えることで、
人々にとって、茅ヶ崎が価値ある街になる。

茅ヶ崎らしさとは

歩きや自転車での移動が多いように、まち全体がコンパクトなため、自然、駅周辺、商店、住宅等の互いの距離が近いのが特徴的。時間等をそれほど気に掛けず、まちの要素を気軽に楽しめるのが茅ヶ崎の魅力。

「人とまちの距離がちょうどよい。」(案)

茅ヶ崎は都心からも近い、小さな街。
この街に自然やお店など色々なものが詰め込まれている。

食事をしたい、買い物がしたいと思えば、おいしい食事や買い物する場所が近くにある。
サーフィンや里山散策したいと思えば、海や里山が近くにあるから、すぐに行ける。
1日あれば、茅ヶ崎のまるごとを味わえる。

思いついたら、気軽に行けて、ゆったりと過ごせる茅ヶ崎。



茅ヶ崎のイメージと魅力

イメージ

内部・外部のどちらの評価が高いのは、「自由な」、「明るい」、「ゆったりとした」といった軽やかな印象。

魅力

「自然が豊か」、「居住環境が良さ」、「交通の便の良さ」、「食が豊か」が各種アンケートで、魅力として評価の高い項目

市民満足度調査	地域特性調査	観光資源に関する調査	転入者アンケート	茅ヶ崎の印象やライフスタイルに関する調査
「自然やみどり、水が豊か」	「海と調和している街だ」	「自然が豊か」	「海が近い」	「癒される自然があること」 「まちや海が綺麗なこと」
「心地よく暮らせる居住環境がある」	「住み心地がよい街だ」 「地域の人がゆったりと暮らしている」 「温暖な気候で住みやすい」	「のんびり過ごせそうなエリア」 「住みやすそうなエリア」 「安全なエリア」	「静かな居住環境」 「まちの雰囲気がよい」	「のんびり暮らせること」 「まちや海が綺麗なこと」
「交通の便が良い」 「買い物が便利」			「交通の便が良い」 「買い物が便利」	
「海の幸や農産物に恵まれて食が豊か」	「海の幸が美味しい」			
	「海で遊べる」	「地味な風土のエリア」	「親や子供がいる」	「楽しめる場所がたくさんあること」

自然

居住環境

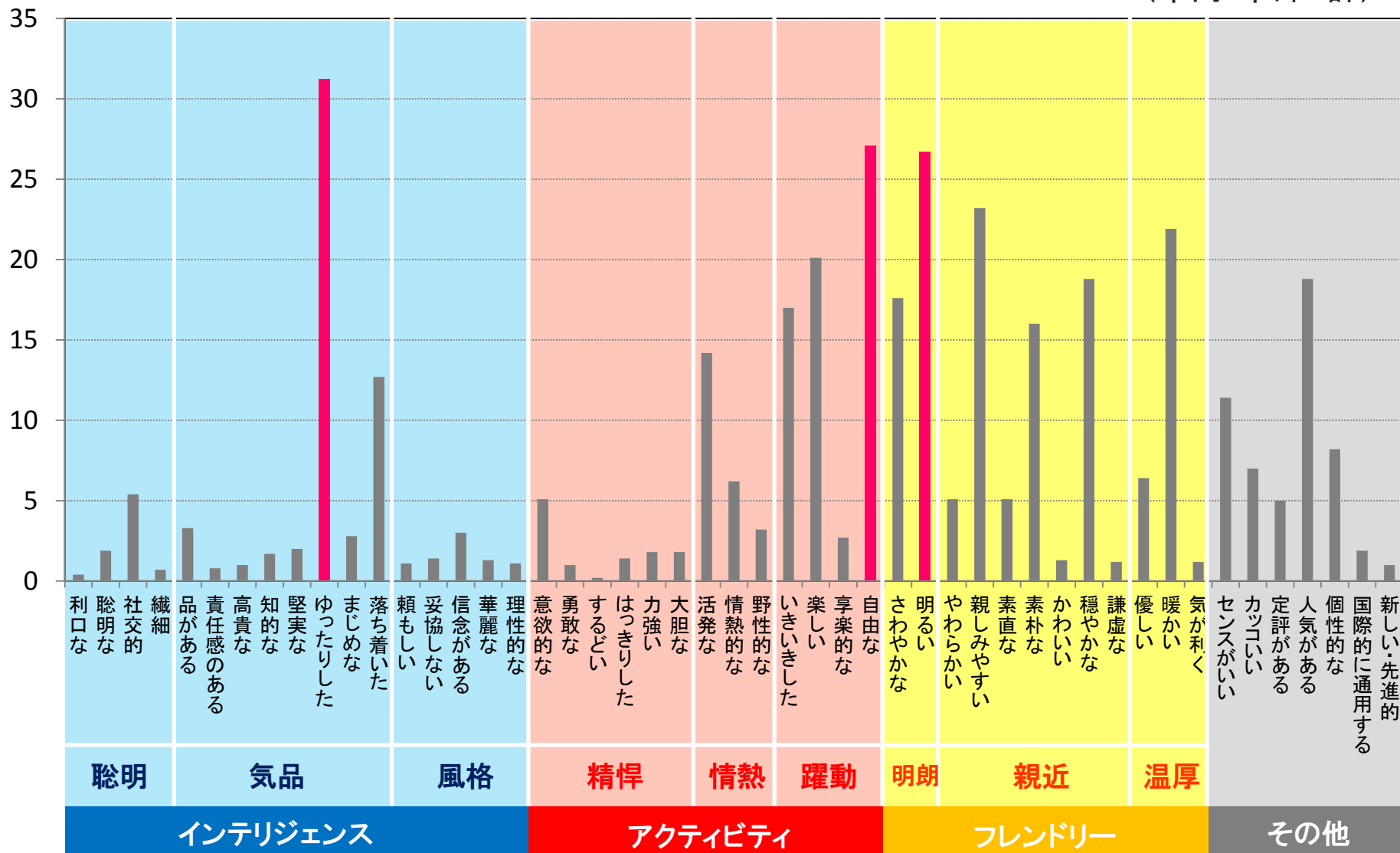
交通の便

食

質問 あなたが、「茅ヶ崎」のイメージとして、あてはまると思うものを、すべてお選びください。

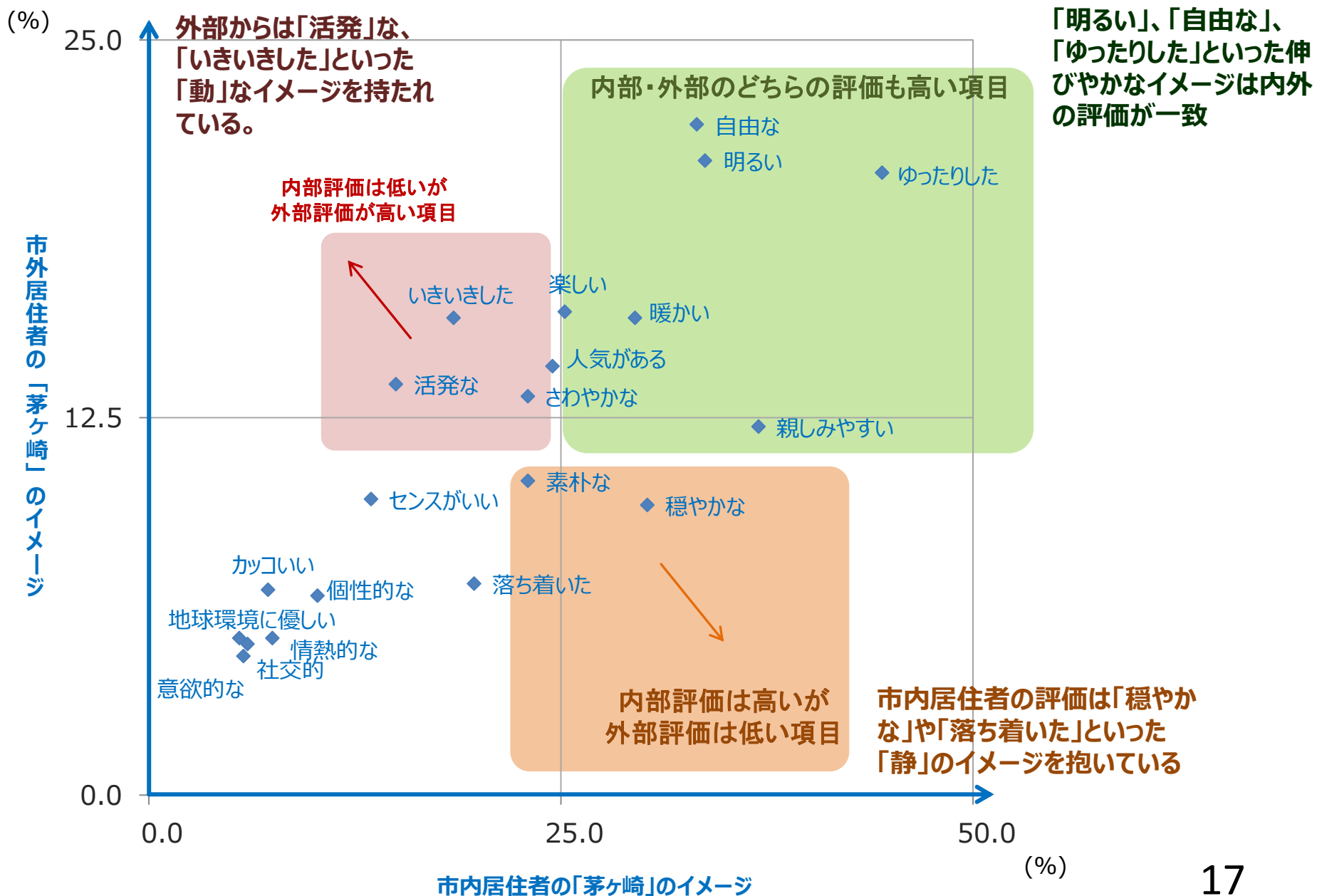
(%)

(市内・市外 計)



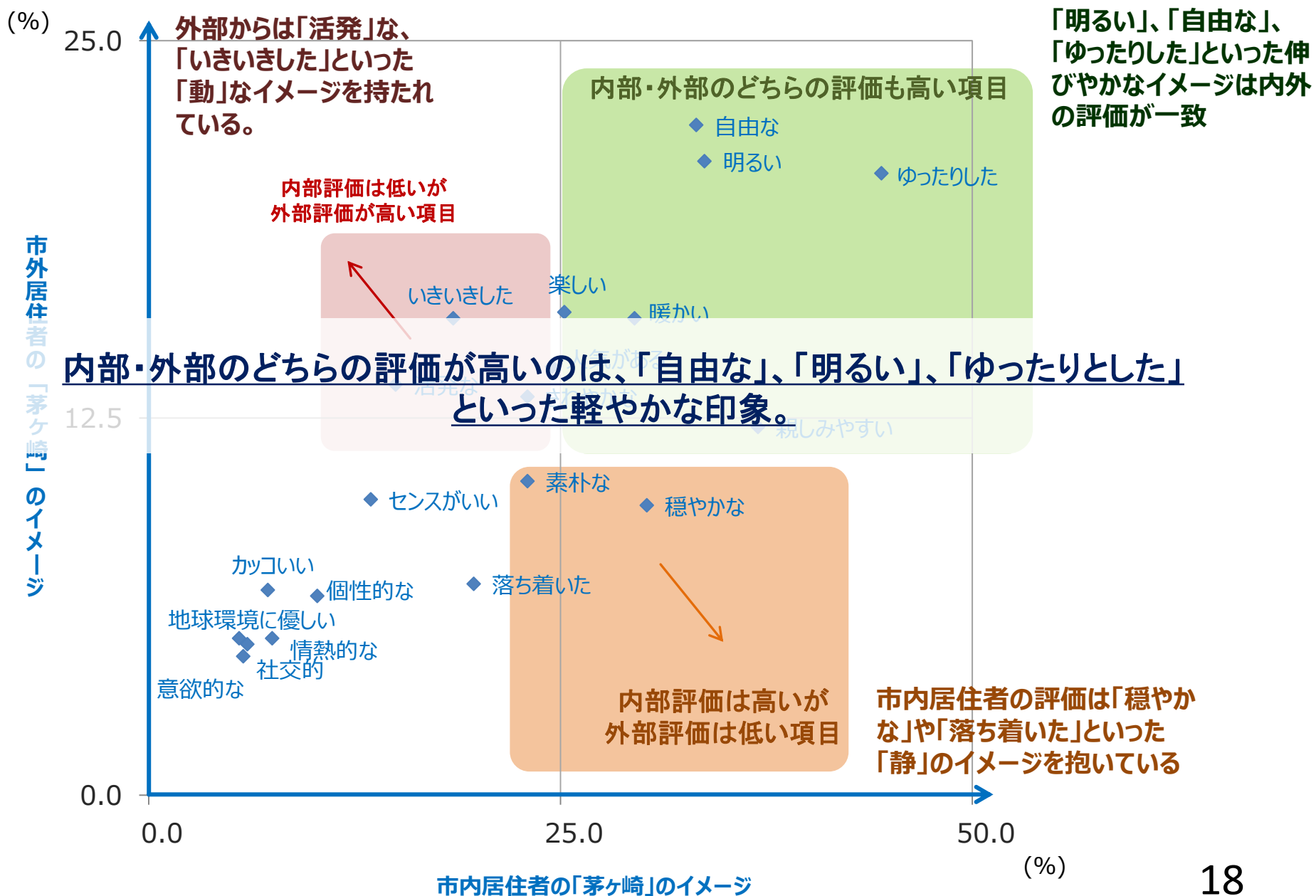
茅ヶ崎のイメージ（市内・市外の比較）－地域特性調査

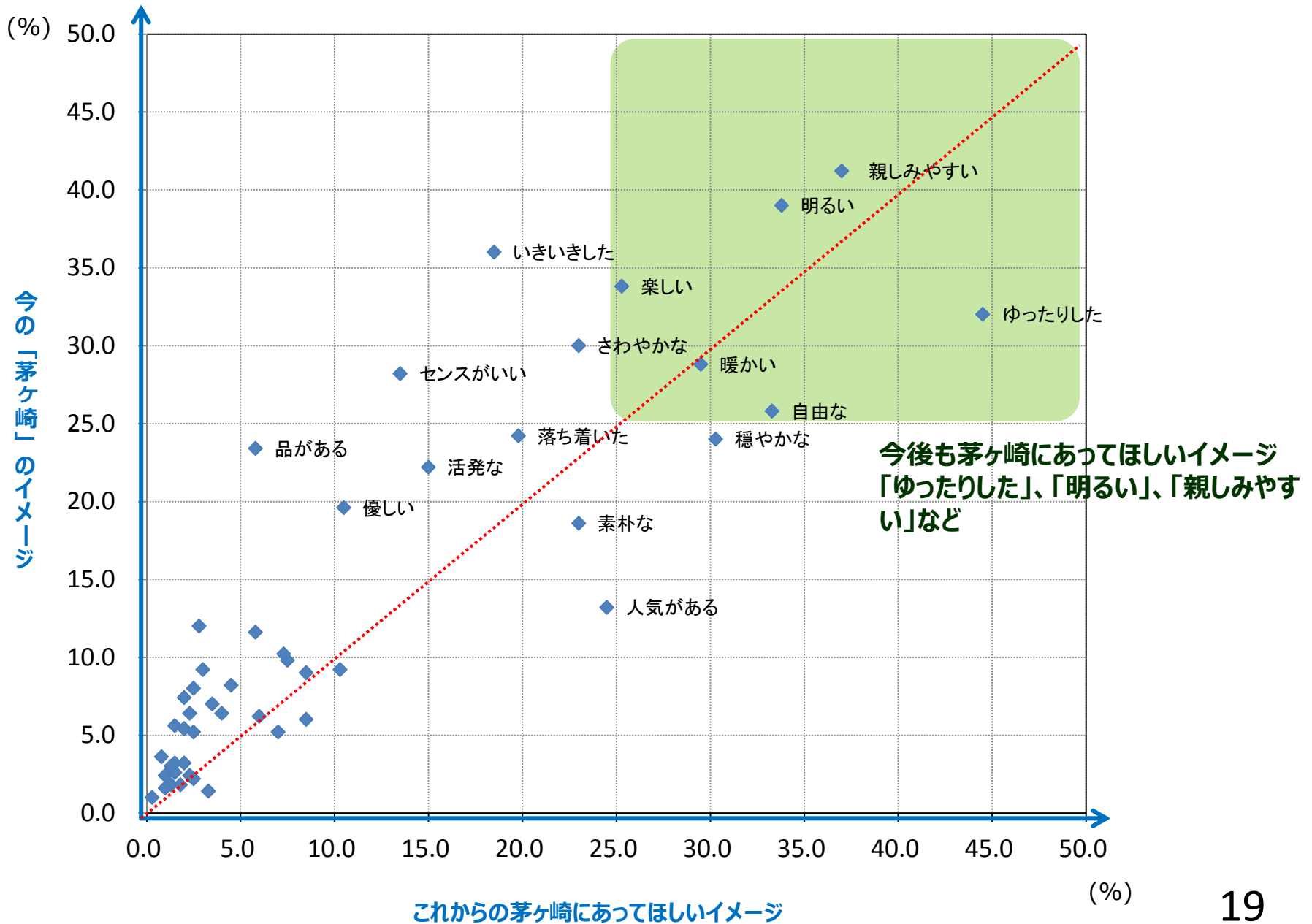
資料：産業振興課

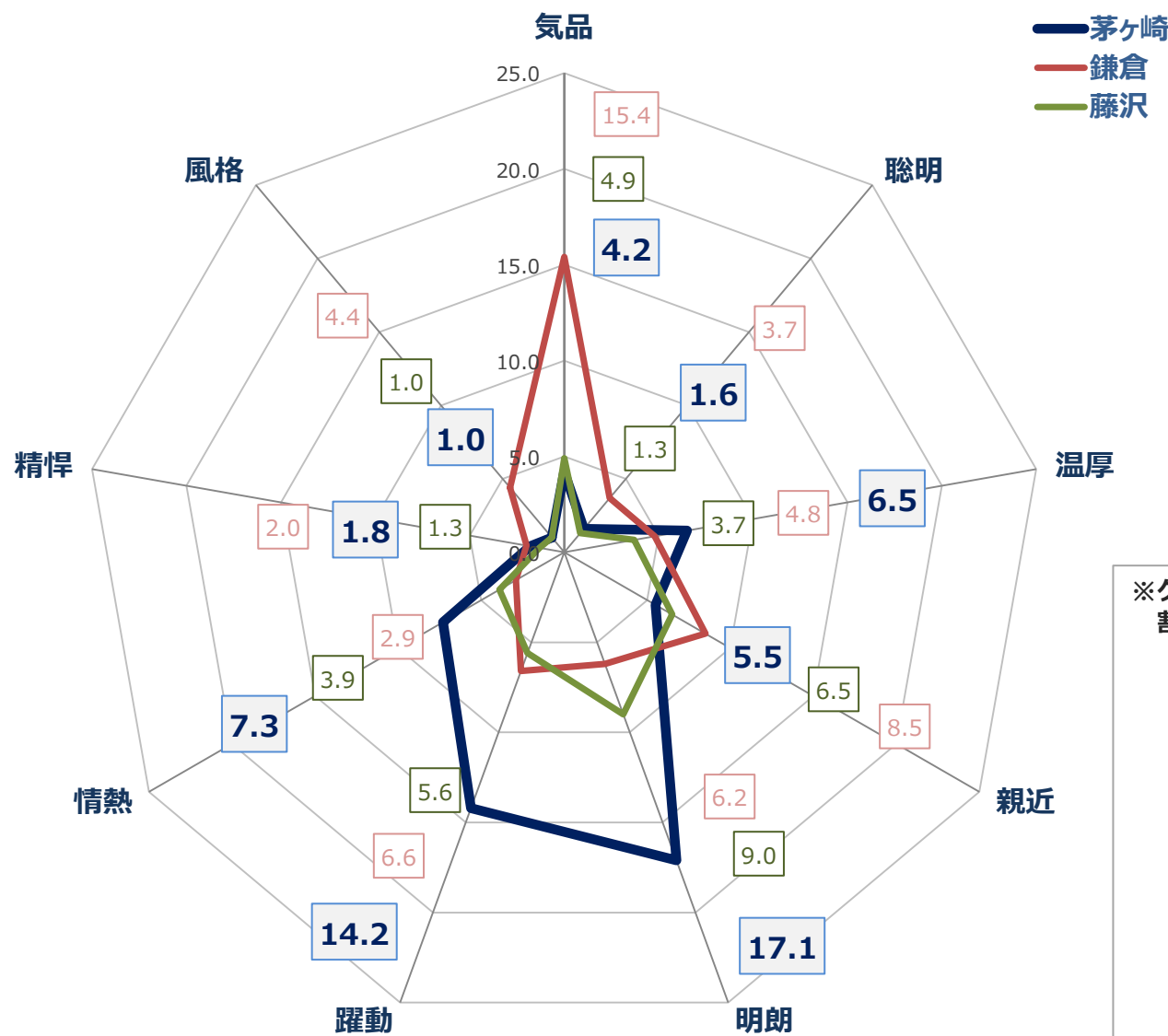


茅ヶ崎のイメージ（市内・市外の比較）－地域特性調査

資料：産業振興課







※グラフは、下記項目それぞれに「そう思う」と回答した割合の平均値

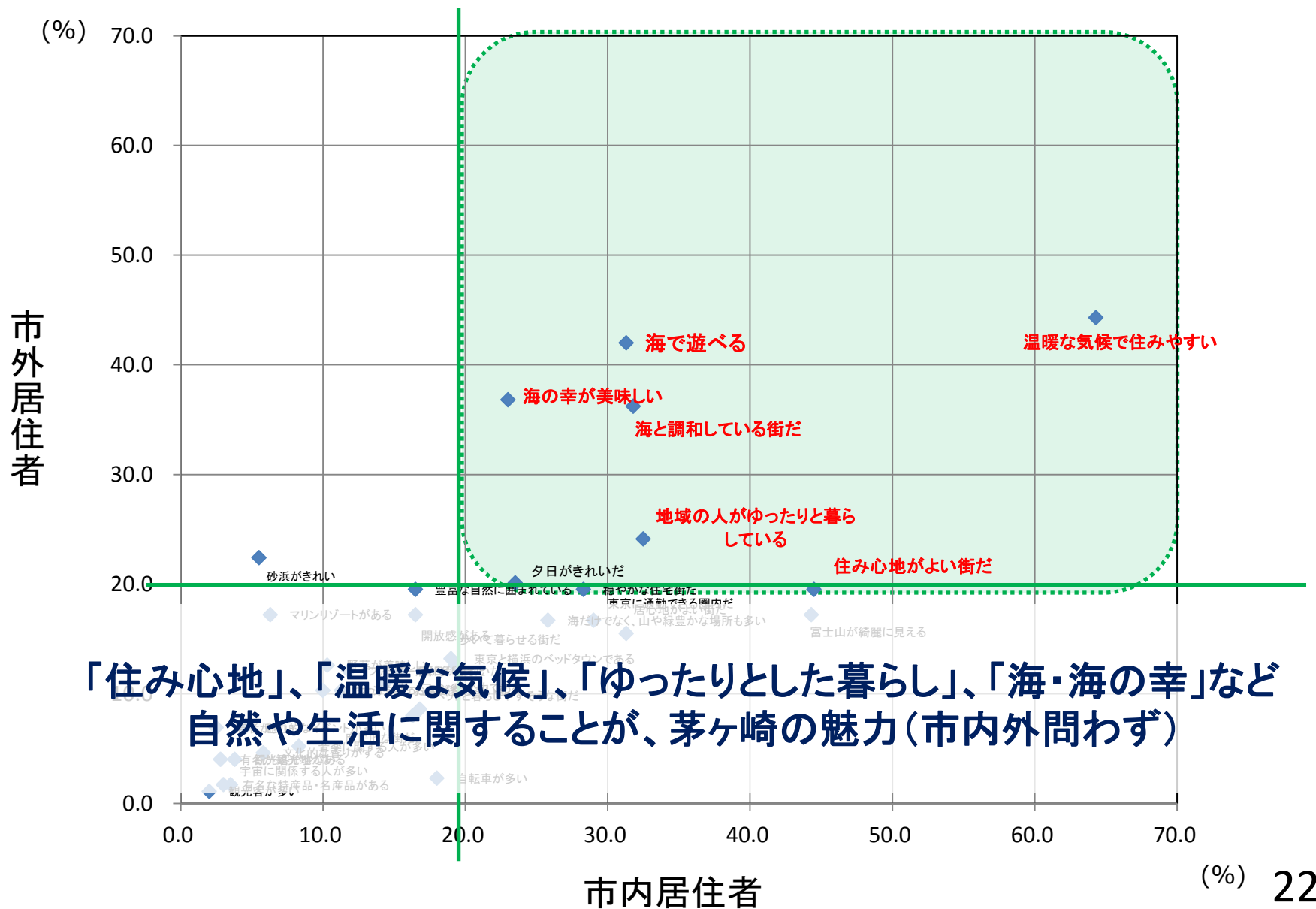
- 【精悍】 意欲的な・勇敢な・するどい・はっきりした・力強い・大胆な
- 【情熱】 活発な・情熱的な・野性的な
- 【躍動】 いきいきした・楽しい・享樂的な・自由な
- 【明朗】 さわやかな・明るい
- 【親近】 やわらかい・親しみやすい・素直な・素朴な・かわいい・穏やかな・謙虚な
- 【温厚】 優しい・暖かい・気が利く
- 【聡明】 利口な・聡明な・社交的・繊細
- 【気品】 品がある・責任感のある・高貴な・知的な・堅実な・ゆったりした・まじめな・落ち着いた
- 【風格】 頼もしい・妥協しない・信念がある・華麗な・理性的な

単位：％

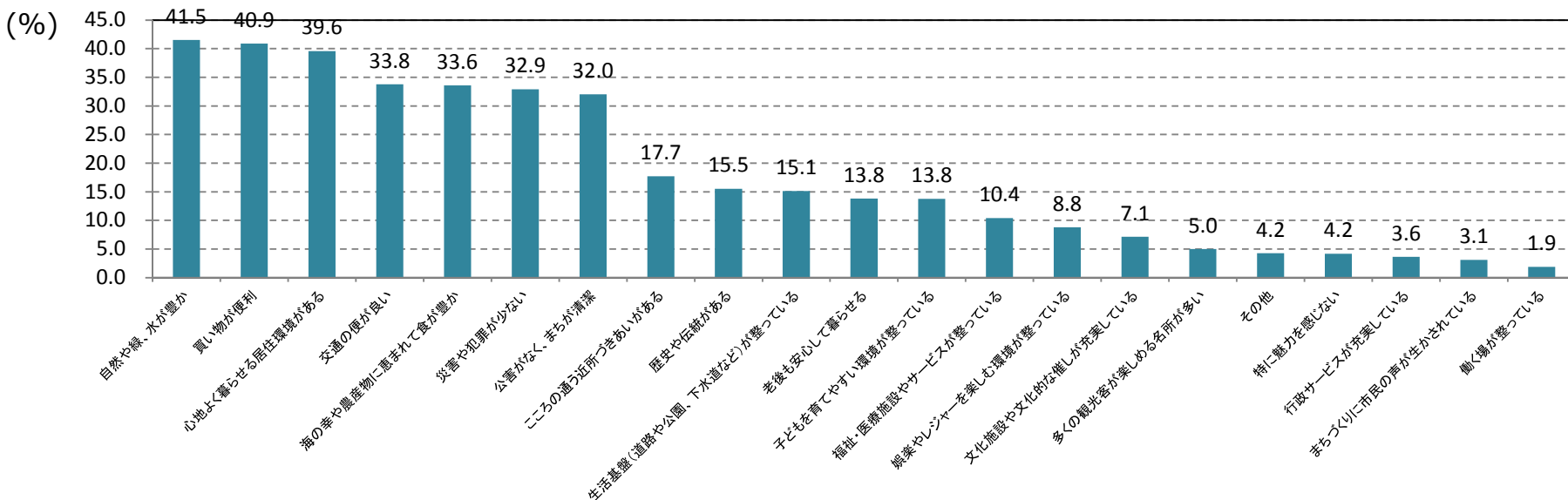
市外居住者



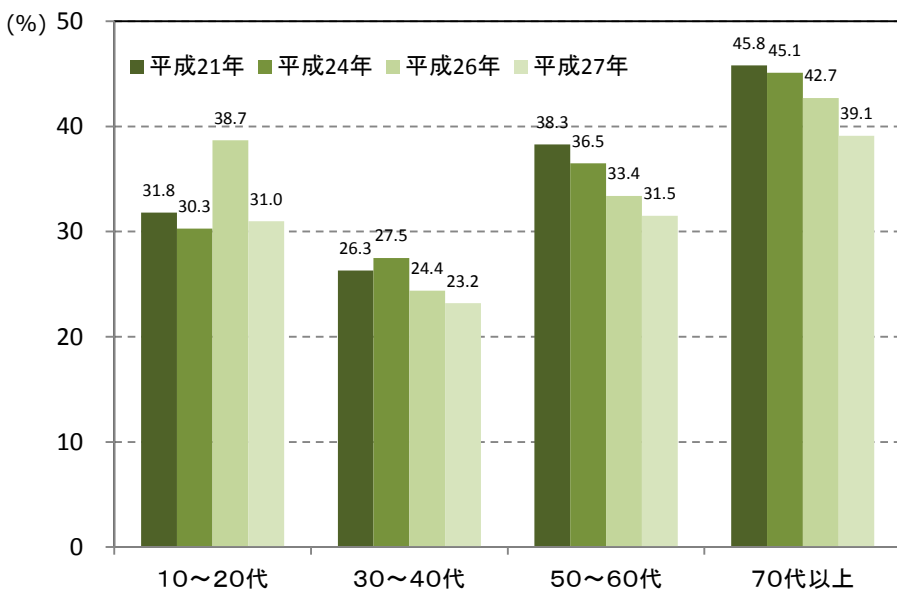
質問 「茅ヶ崎」の特徴について、魅力的に感じるものをすべて選んでください。



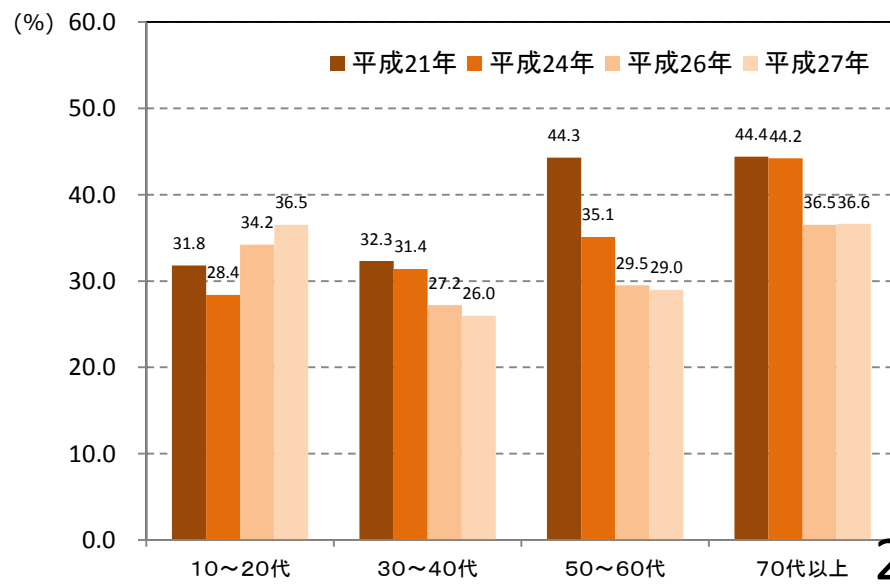
茅ヶ崎の魅力（過去5回の調査結果の平均値）



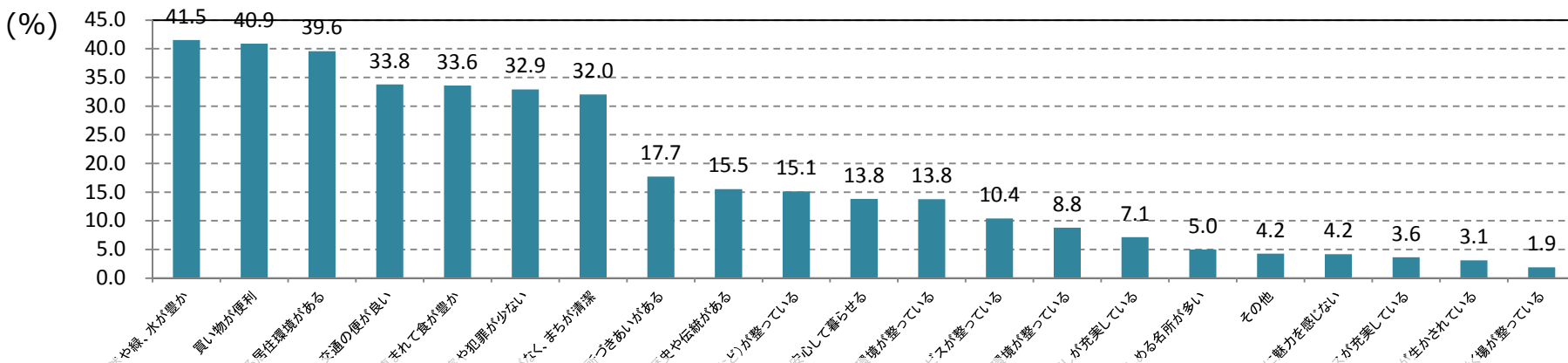
茅ヶ崎の魅力：「交通の便が良い」



茅ヶ崎の魅力：「海の幸や農産物に恵まれて食が豊か」



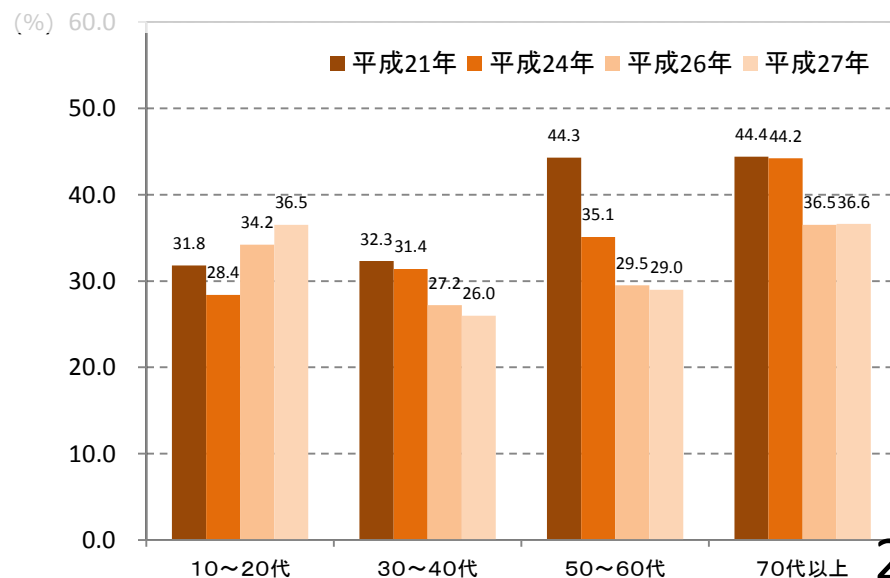
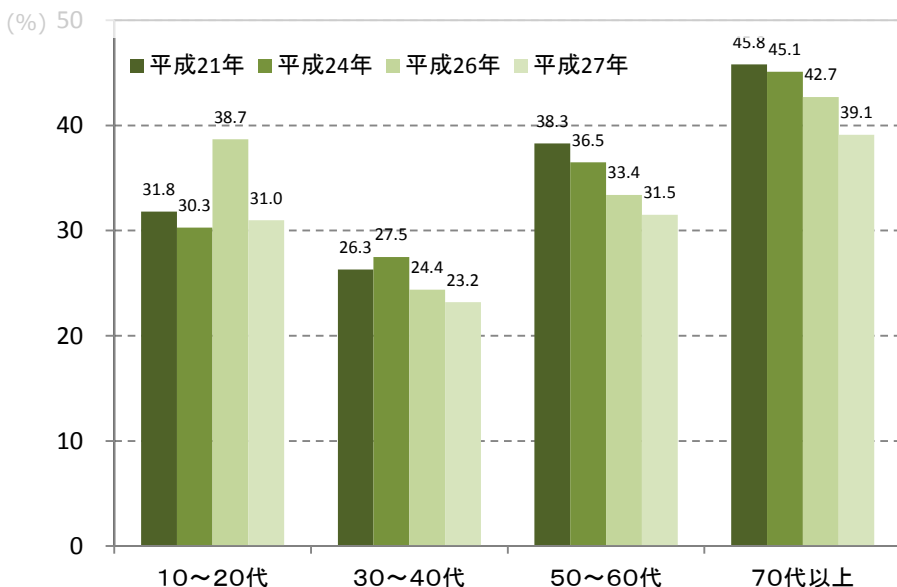
茅ヶ崎の魅力（過去5回の調査結果の平均値）



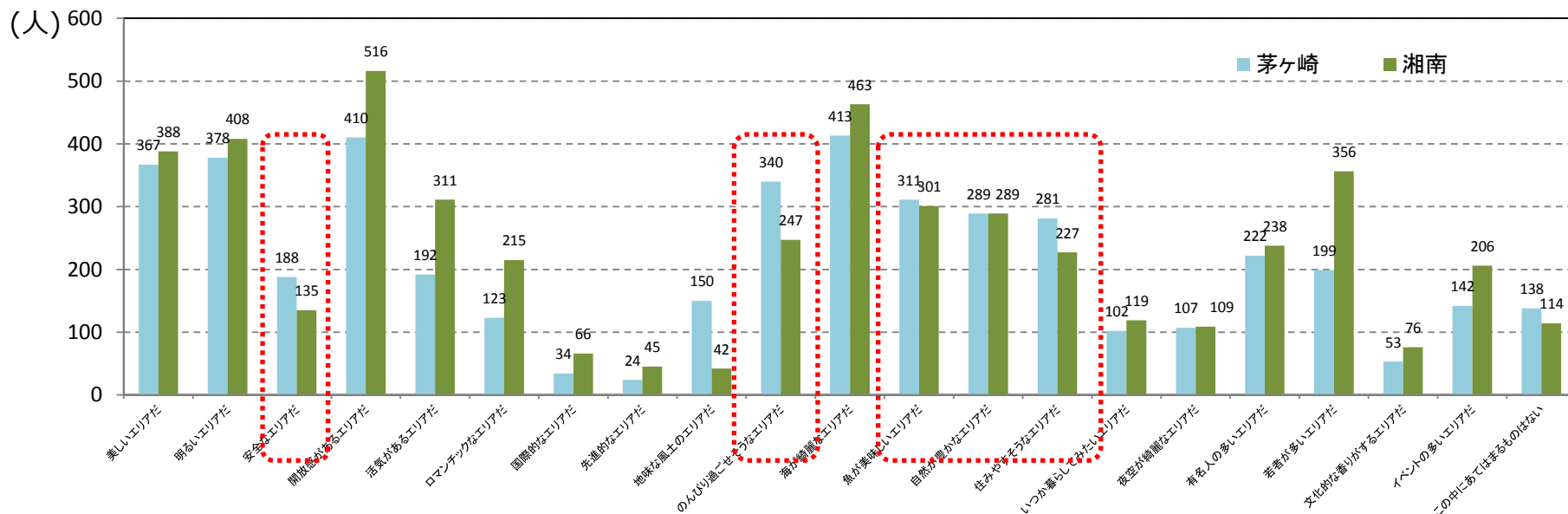
「自然が豊か」、「買い物が便利」、「居住環境」、「交通の便」、「食が豊か」が茅ヶ崎の魅力

※「交通の便」が30～40代（ファミリー世代）には魅力が低く、年を追うごとに魅力が全世代で減少

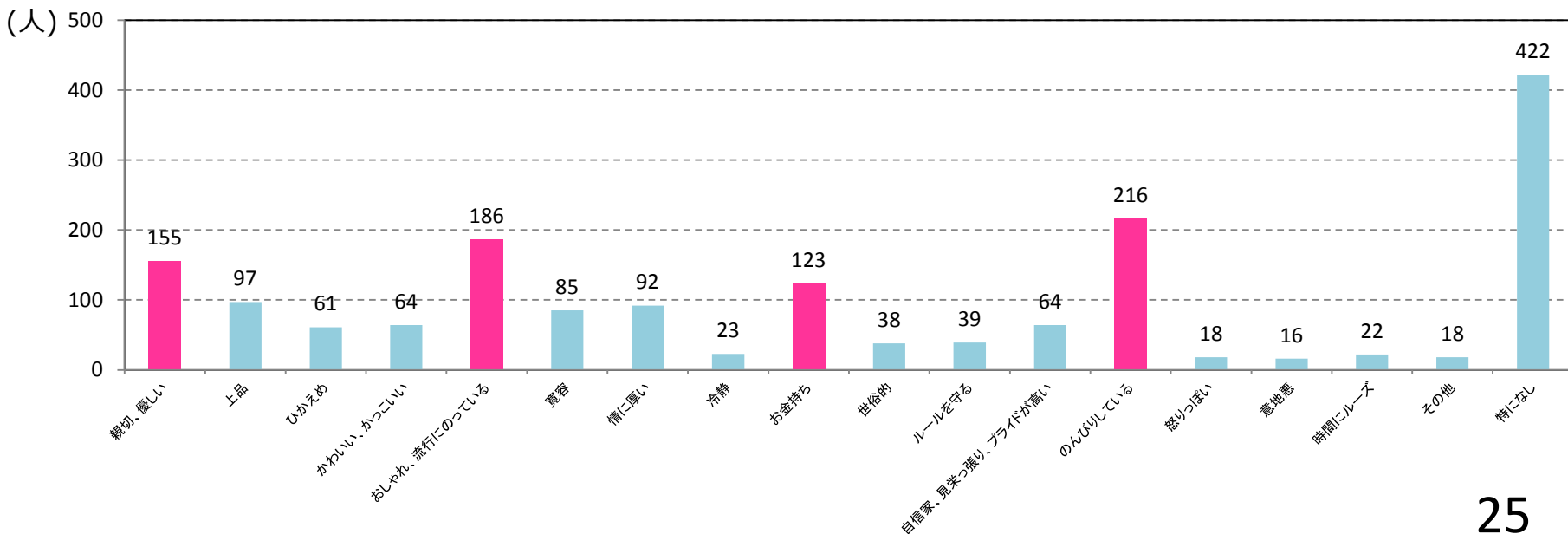
※「食が豊か」については、10～20代では高くなっているが、それ以外の世代で減少傾向



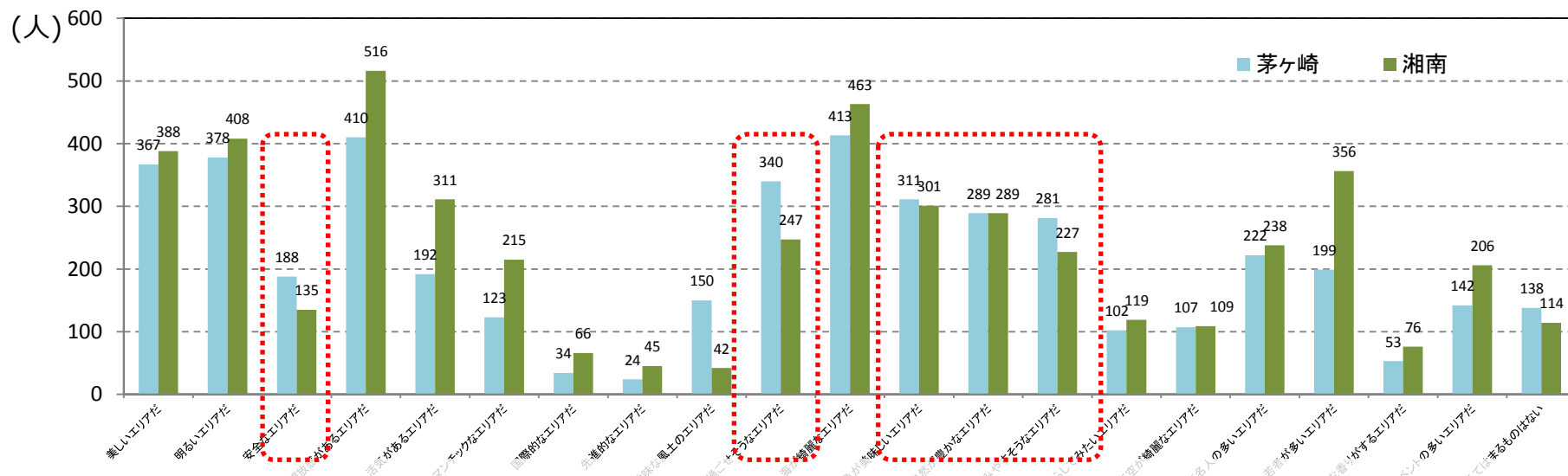
茅ヶ崎と湘南のまちのイメージ



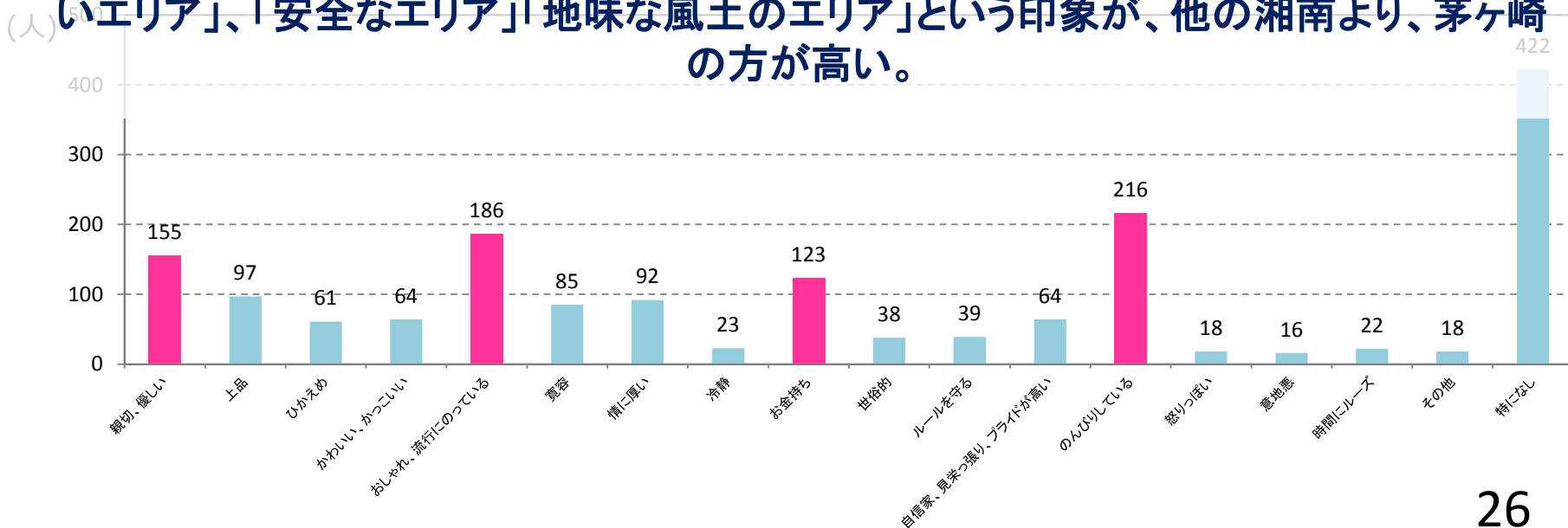
(参考) 茅ヶ崎の人のイメージ



茅ヶ崎と湘南のまちのイメージ



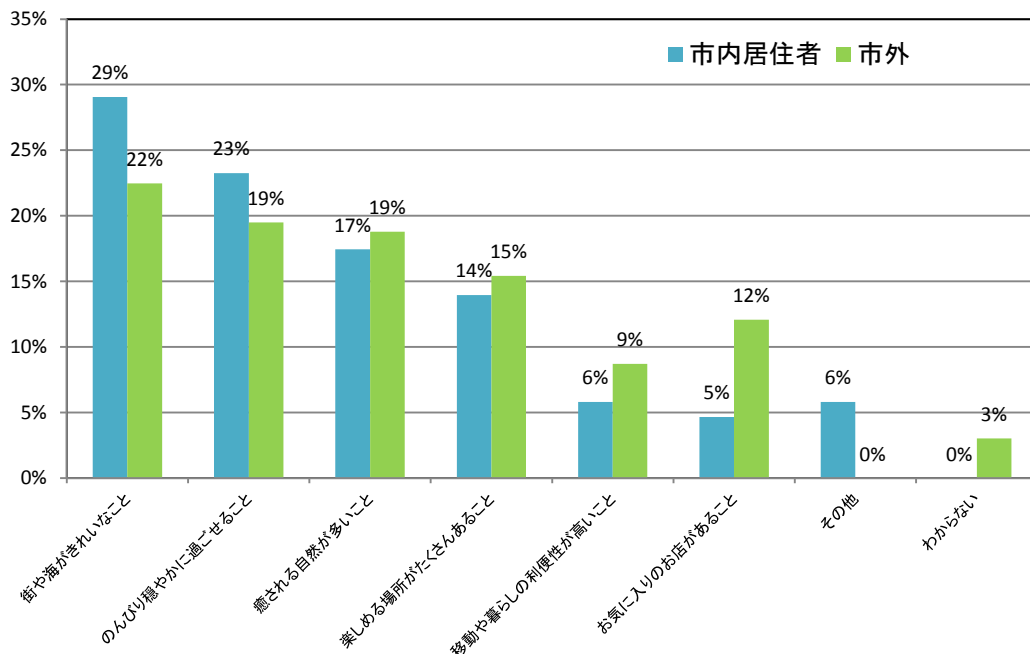
「のんびり過ごせそうなエリア」、「住みやすそうなエリア」、「自然が豊かな」、「魚が美味しいエリア」、「安全なエリア」「地味な風土のエリア」という印象が、他の湘南より、茅ヶ崎の方が高い。



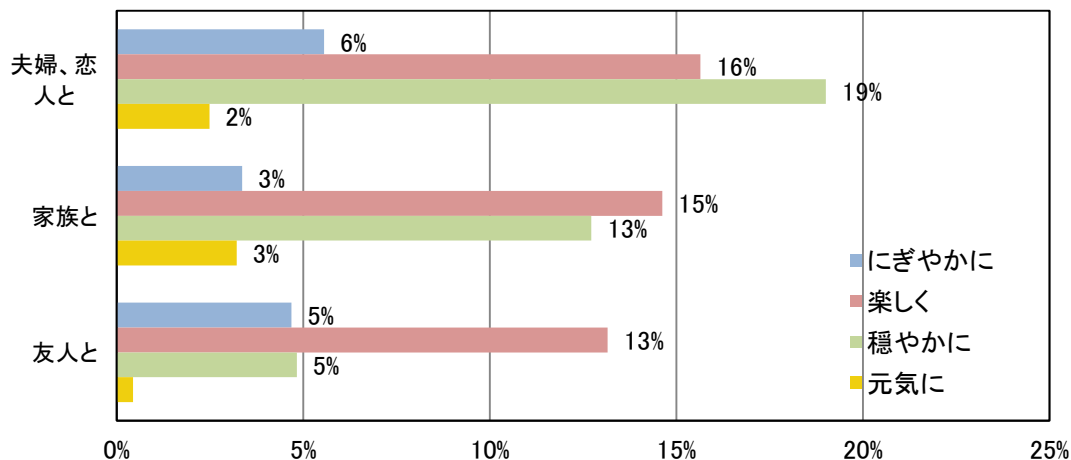
茅ヶ崎で過ごす「理想の休日」、「ライフスタイル」

資料：都市政策課

茅ヶ崎で過ごす「理想の休日」、「ライフスタイル」に必要なと思うものは何か？（複数選択）



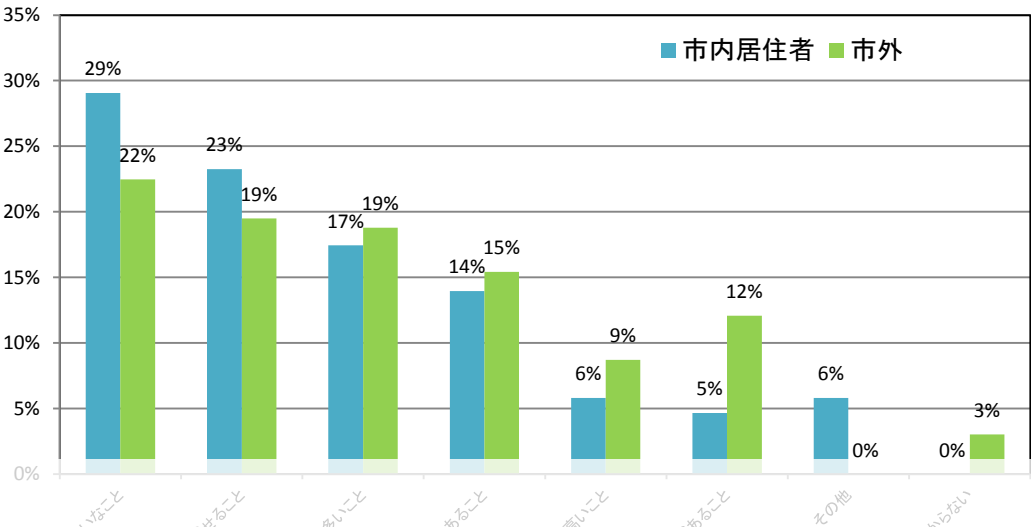
茅ヶ崎は、誰とどんな風に過ごすのがあっている場所だと思うか？（1つずつ選択）



茅ヶ崎で暮らしていく中で、大切にしたいもの、は何か？（市民のみ）

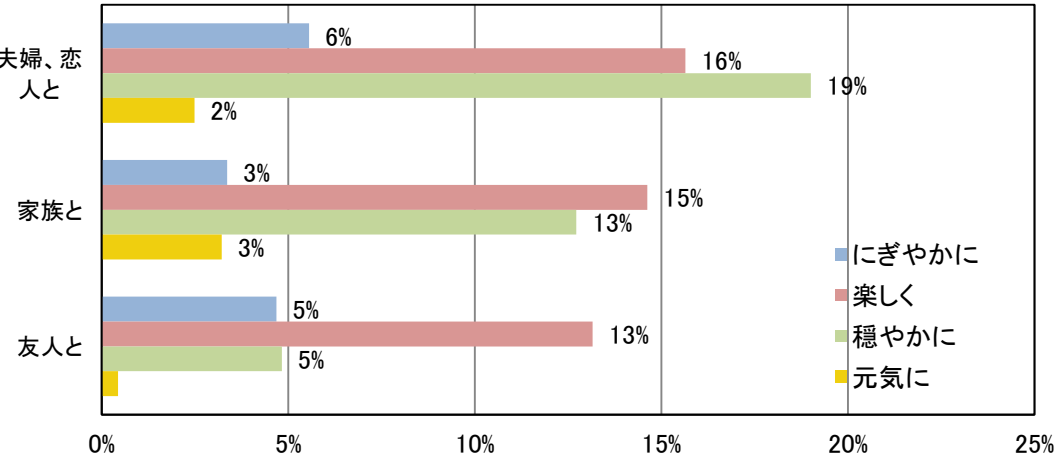
分類	回答	合計	内訳
自然・景観	海	22	10
	自然		9
	山		2
	景観		1
街や人、雰囲気	のんびりとした雰囲気	22	4
	穏やかな雰囲気		2
	友達		2
	ハワイのようなゆったりとした雰囲気		2
	平和な雰囲気		2
	周りの人々		2
	素朴な雰囲気		1
	古い別荘地の雰囲気		1
	文化		1
	今のままで		1
	常に町がキレイで平和であってほしい		1
	飾らない雰囲気		1
	世代の違う人々たちとの交流		1
	美しい町を残してほしい		1
有名人	サザンオールスターズ	4	1
	桑田圭祐		1
	加山雄三		1
	松坂桃李		1
その他		3	3
特になし		15	18

茅ヶ崎で過ごす「理想の休日」、「ライフスタイル」に必要だと思うものは何か？



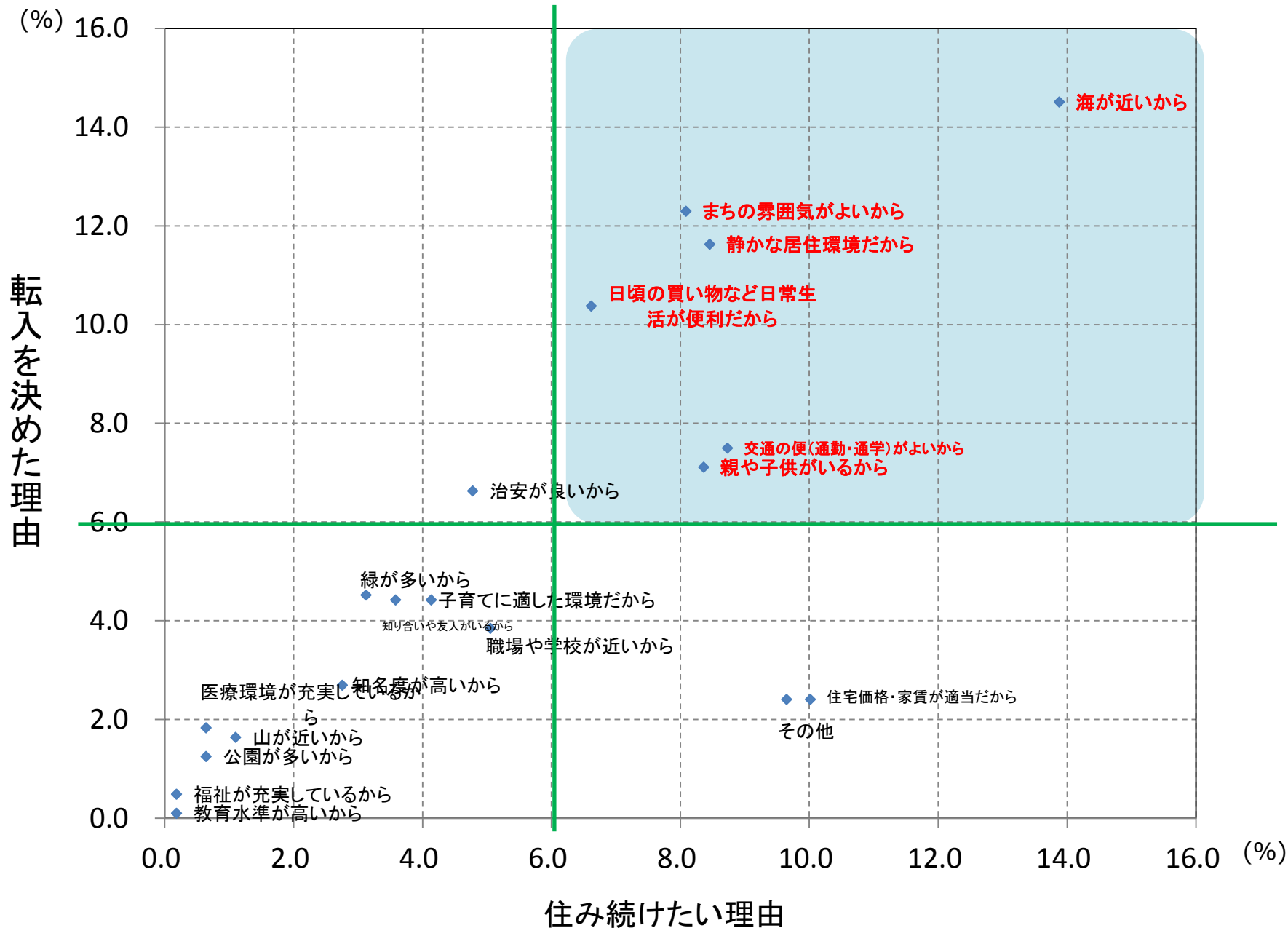
日々の生活には、自然だけでなく、まちの雰囲気(ゆったり、のんびり、穏やか)も重要

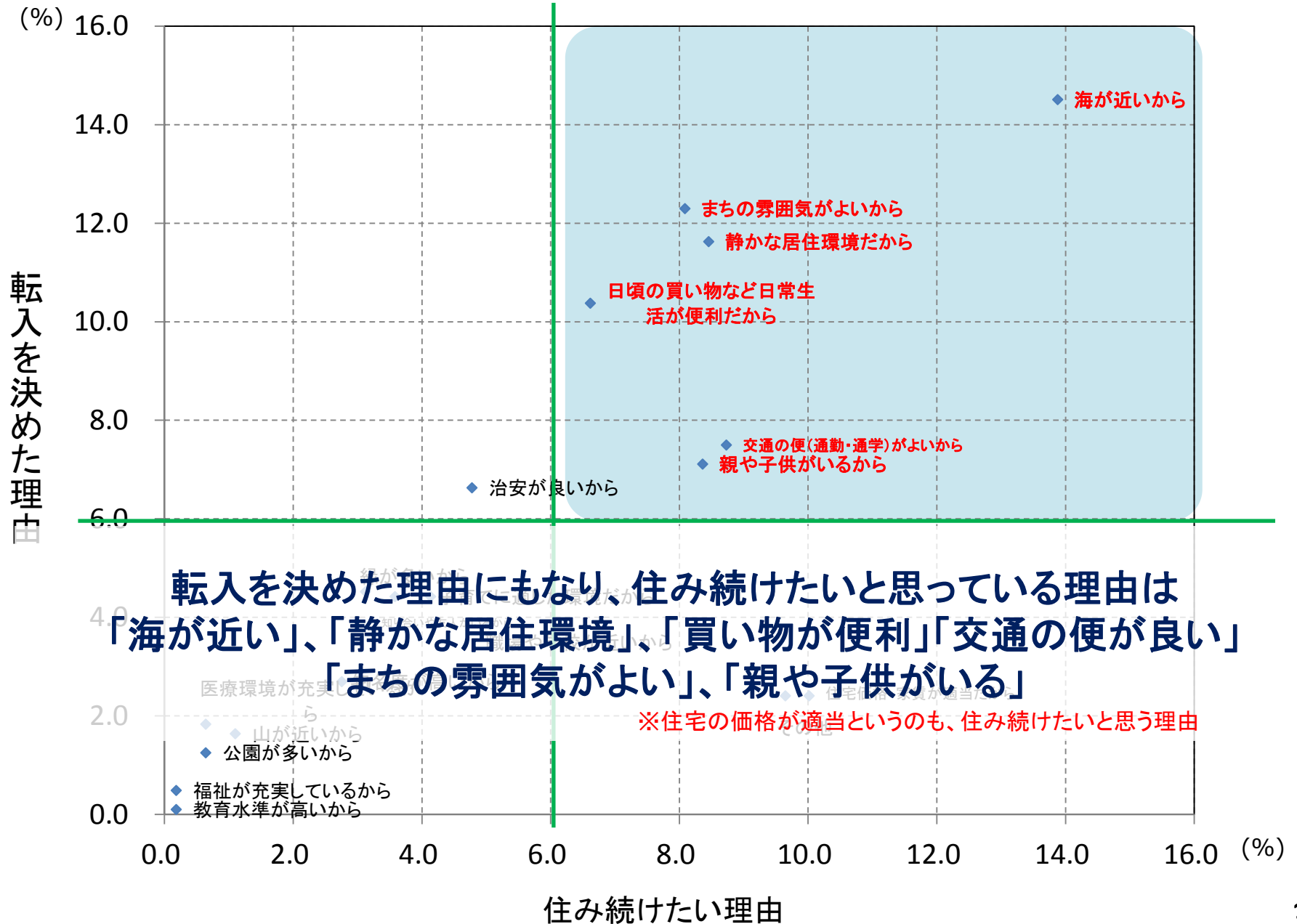
茅ヶ崎は、誰とどんな風に過ごすのがあっている場所だと思うか？



茅ヶ崎で暮らしていく中で、大切にしたいもの、は何か？（雰囲気、文化、人など）

分類	回答	合計	内訳
自然・景観	海	22	10
	自然		9
	山		2
	景観		1
街や人の雰囲気	のんびりとした雰囲気	22	4
	穏やかな雰囲気		2
	友達		2
	ハワイのようなゆったりとした雰囲気		2
	平和な雰囲気		2
街や人の文化	周りの人々	22	2
	素朴な雰囲気		1
	文化		1
	今のままで		1
その他	常に町がキレイで平和であってほしい	15	1
	飾らない雰囲気		1
	世代の違う人たちとの交流		1
	美しい町を残してほしい		1
有名人	サザンオールスターズ	4	1
	桑田圭祐		1
	加山雄三		1
	松坂桃李		1
その他		3	3
特になし		15	18





■個別の調査（暮らし、移動、自然・みどり）

暮らし

- ・ 都会でも田舎でもない程良い環境に対して魅力を感じている。
- ・ 誰と、どこで過ごすかは人それぞれ。徒歩、自転車で、落ち着いたたり、ホッとしながら過ごしている（北部は、車での来訪が多い）。
- ・ 徒歩や自転車で行ける距離にあるゆえに、より良い移動環境や公共空間の必要性を感じている。子育ての環境を充実。

移動

徒歩 自転車

- ・ 時間を気にせずに自由にどこでも行けることや、自然やまちの空気を感じながら、移動自体を楽しめることに、徒歩・自転車の魅力を感じている。
- ・ 休めるベンチがほしい、駐輪場が少ない、自転車のルール・マナーが悪い
自転車レーンがもっとほしい

バス 車

- ・ 荷物や多いこと、子どもがいるなど、何かしら負担がある場合に時間をかけずに移動することに利点があると感じている。
- ・ 案内やルートが分かりにくい、バス停に屋根やベンチがほしい、
駐車場が少ない

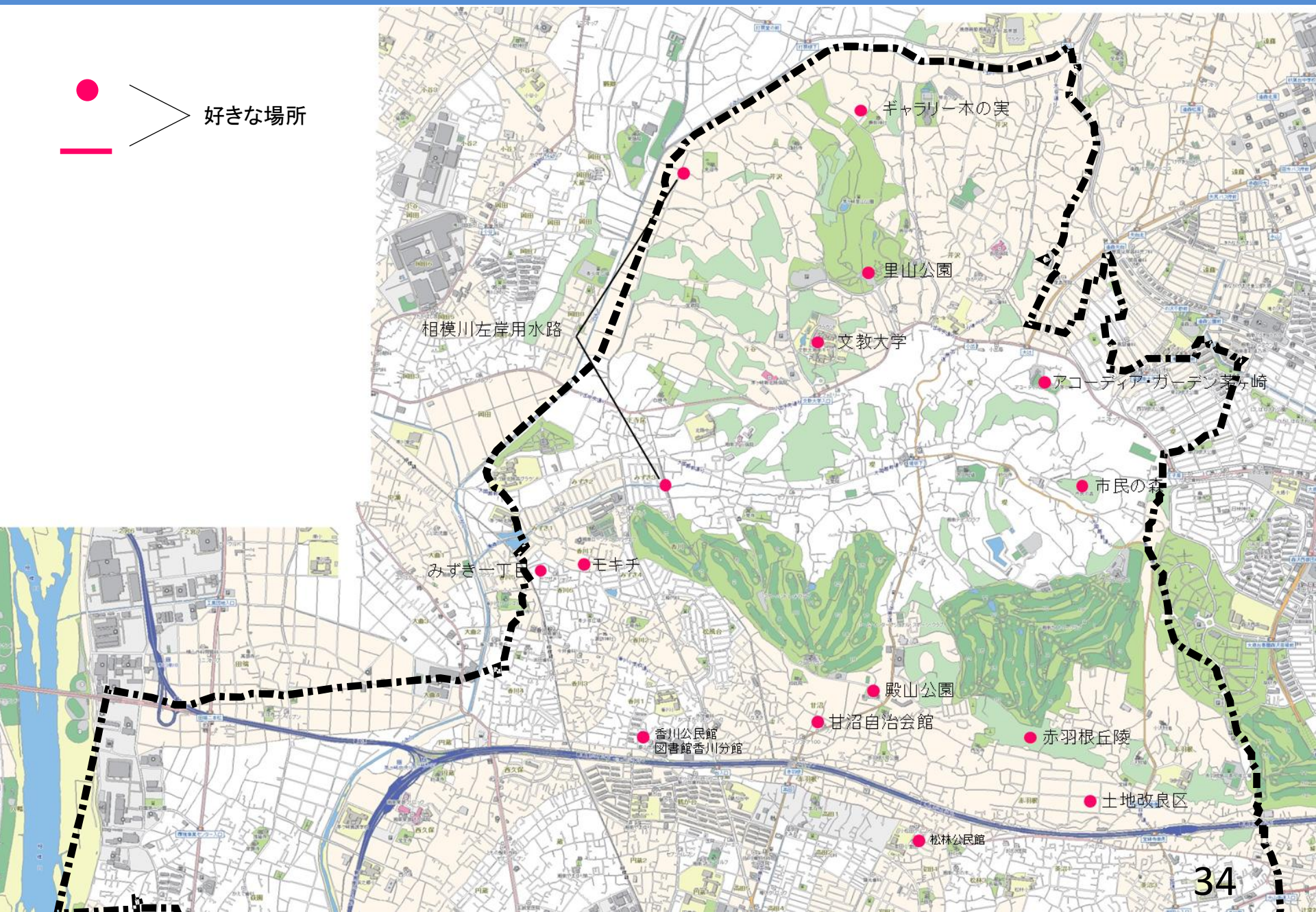
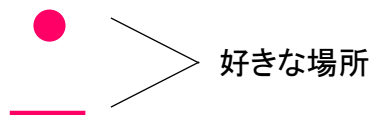
みどり

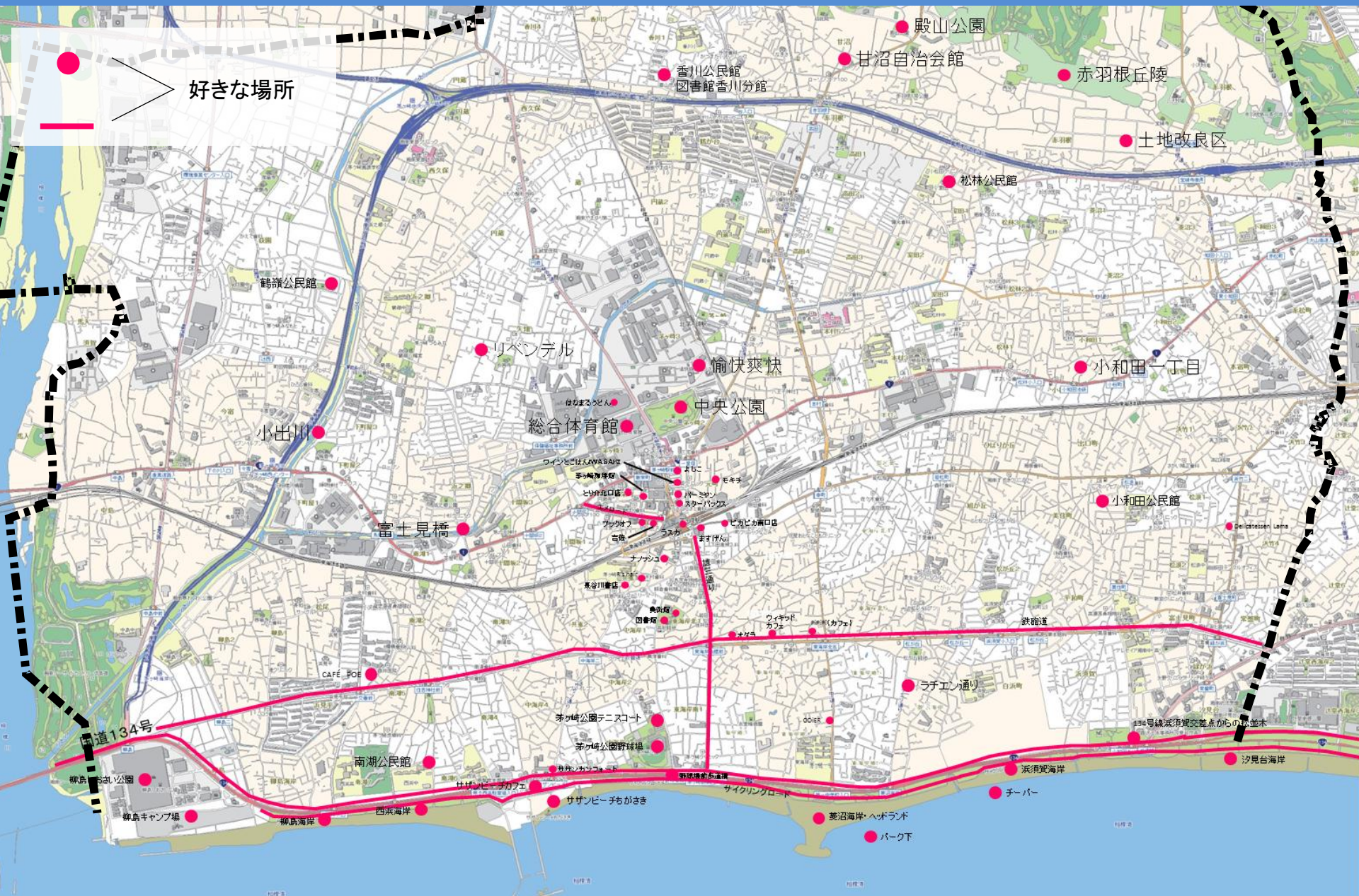
- ・ 家の周りや公共空間に、みどりのある空間が重要。
- ・ 海に係る資源に比べてみどりに関わる資源の魅力は低い。
自然やみどりの「魅力」を感じられると環境や機会が必要。

項目	回答
場所	自然：海、ヘッドランド、チーパー、パーク下、汐見台海岸、西浜海岸、浜須賀海岸、菱沼海岸見晴台 134号線浜須賀交差点からの松並木、小出川、相模川沿い、赤羽根丘陵、街路樹 お店：ラスカ、ODiER(花屋)、ナノッシュ、サザンビーチカフェ、mokichi、R's hair、みずき一丁目、バーミヤン、ピカピカ、ブックオフ、とり介北口店、ギャラリー木の実、スタバ、吉左、ワインとごはんIWASAKI、オダラ、よしこ、茅ヶ崎珈琲館、湯快爽快、龍泉寺、ますげん、PiPiPi(カフェ)、Delicatessen Lama、CAFÉ POE、本屋さん(川上書店、長谷川書店)、サザンカンフォート、矢畑のリベンデル、アコーディア・ガーデン茅ヶ崎、えぼし、2秒3、イオンスタイル さくら寿司、猪口屋(チョコヤ)、駅近のバー 施設：里山公園、中央公園、市民の森、柳島キャンプ場、公民館、美術館周辺、図書館、殿山公園、茅ヶ崎駅 サザンビーチ近くの歩道橋、文教大学、近所の青少年広場、総合体育館、富士見橋、球場近くの橋、文化会館 茅ヶ崎コミュニティセンター、しおさい広場、鳥井戸橋、茅ヶ崎野球場 他：エメロード、雄三通り、一中通り、鉄砲道、サザン通り、134号、1号線沿い、サイクリングロード、ざっくり南側、茅ヶ崎駅南口周辺、ラチエン通り、芹沢の北側外周道路付近、浜降祭、えぼし岩、ラスカ屋上、浜見平、腰掛神社 小出貝塚
いつ	休日、仕事終わり、1月2・3日 など
どうやって	歩き・走って(45%)、自転車(29%)、車・バイク(20%)、バス・電車(5.5%)(回答重複有)
気分	癒される、落ち着く、ストレス解消、ホッとする、清々しい、ハッピーな気分、ワクワクする、感動する、嬉しい、無になれる、懐かしい、明るい気分、幸せな気分
理由	何となく、人と話せる、綺麗な景色が見れるから、おいしいものが食べれる、便利だから、遊べるから、季節を味わえる、スッキリする
思い出	デートした、友達とよく遊んだ、子どもと遊んだ、犬との散歩 など

赤字：市民討議会で好きな場所として出ていた資源

自然やお店、施設など過ごす場所は、人それぞれ。
徒歩、自転車で行ける範囲で落ち着いたり、ホッとしながら過ごしている方が多い33





まちの印象と良いところ： 都市の文化と自然環境が程よい距離にあり、身の回りで事が済む。

- ・ まちや人がゆったり、おっとりとしている。
- ・ 海や山もあり、買い物などもできて、都会でも田舎でもないところ。
- ・ 徒歩や自転車、だいたいどこでも行ける、物事が済む。バスも比較的にあり、交通の便が良い。
- ・ 鎌倉、江の島、箱根、東京などそれほどに時間が掛からずに行ける。

改善が必要なこと： 屋外に様々なものがあり、行ける距離にあるゆえに、より良い移動環境や公共空間の必要性を感じている。子育ての環境を充実。

- ・ 子どもから大人まで、気軽に寄れるフリースペース、公園・広場、カフェ、休める場所があるといい
- ・ 道の狭さ。自転車がなくて、怖いと感じる。
- ・ 用いる資源（海、北部の遺跡）をもっと活用した方が良い。
- ・ 保育など子育て環境をもっと良くすること。
- ・ 医療支援が充実してほしい。

移動の特性（主要駅までの主な移動手段）



茅ヶ崎駅、辻堂駅へ、徒歩又は自転車で利用している範囲が大きい。
地勢に起伏がなく移動がしやすいことに加えて、駅など施設と海などの自然環境が、居住地から比較的に近いところにある。

「移動」に関して市民討議会で出た意見

徒歩の利点

- ・近いから、歩いた方が早い
- ・健康のため、ダイエット
- ・街並み、花がある家、みどりなどを見るのが楽しい
- ・季節を感じる、風を感じる
- ・知らなかったお店、道を見つけたり、新しい発見がある。寄り道ができる。
- ・写真が撮れる
- ・考えごとをしながら移動ができる
- ・（リタイアをして）今は時間があるから
- ・飲酒ができる
- ・お金がかからない
- ・あいさつなどコミュニケーションができる。思いがけない人と会える。
- ・駐車を気にしなくていい。

自転車の利点

- ・歩きより早く移動ができる。時間を気にしなくていい。
- ・荷物が載せられて便利。
- ・風が気持ちいい。
- ・景色をゆっくり見られる。
- ・運動になる。
- ・写真を撮れる。
- ・知らなかったお店、道を見つけたり、新しい発見がある。寄り道ができる。
- ・コミュニケーションができる。友人と会える。

徒歩・自転車の課題

休めるベンチがほしい、自転車を止められる場所が少ない
交通ルールを守ってない、マナーが悪い、自転車レーンがもっとほしい

「移動」に関して市民討議会で出た意見

バスの利点

- ・大きめの荷物が運べる
- ・飲酒が可能
- ・休憩ができる
- ・考えごとなど移動に集中しなくていい
- ・北部に行ける

車の利点

- ・北部など坂が多くあるところは楽。
- ・荷物がたくさん積める。
- ・子どもがいる場合は楽。
- ・雨が降った時は楽

バス・車の課題

- ・時間が読めない、待ち時間がもったいない
- ・雨の日はバスが来ない、案内が分かりにくい
- ・コミュニティバスの乗り継ぎ、ルートが分からない
- ・バス停に屋根やベンチがほしい
- ・駐車場を探すのが面倒、駐車場が少ない
- ・道が狭い

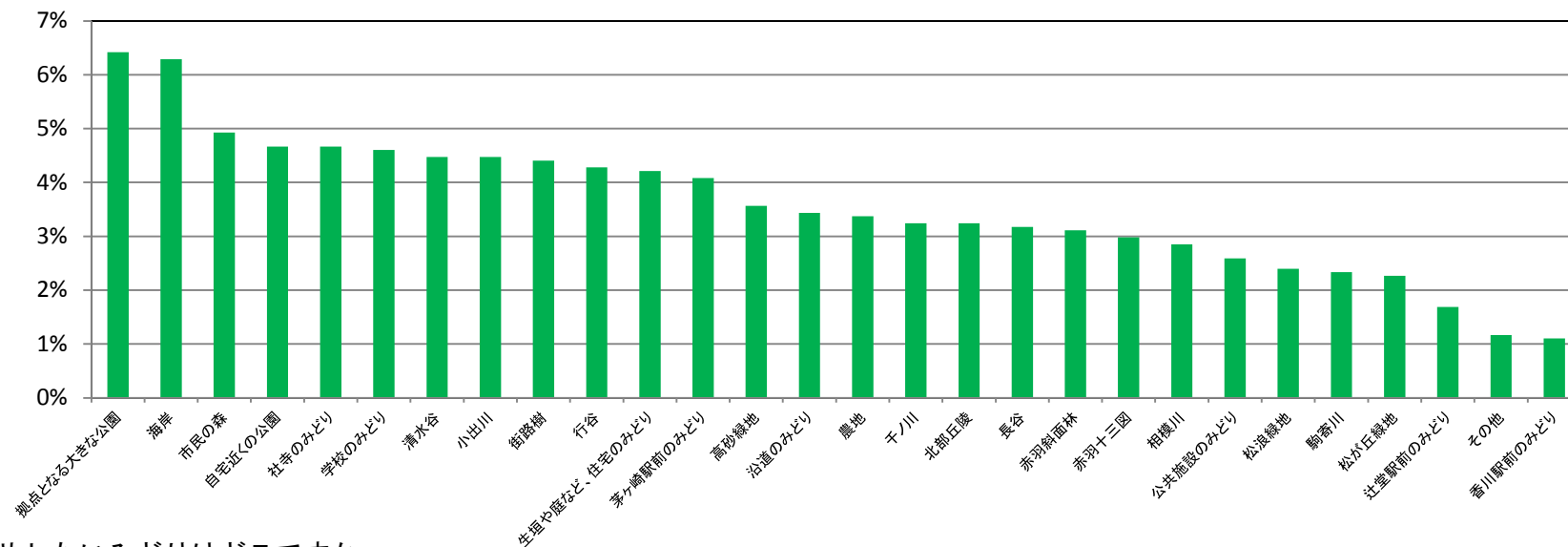
徒歩や自転車

時間を気にせずに自由にどこでも行けることや、自然やまちの空気を感じながら、移動自体を楽しめることに、徒歩・自転車の魅力を感じている。

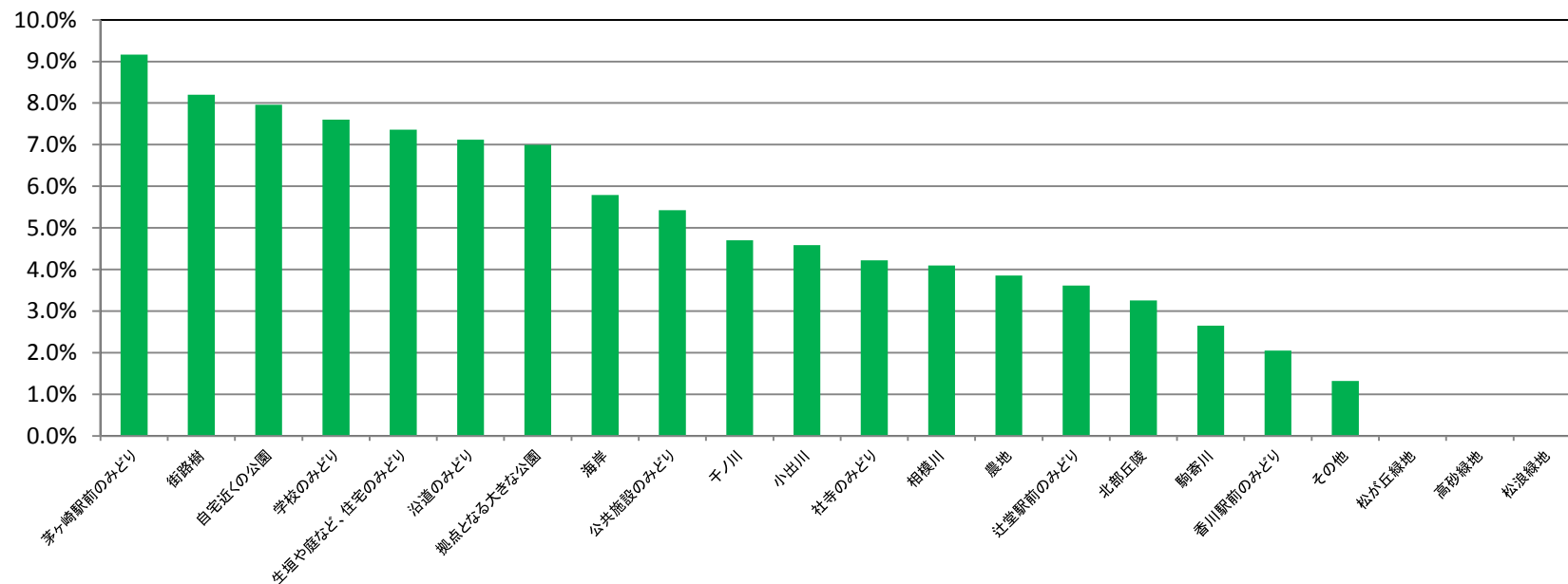
バスや車

荷物や多いこと、子どもがいるなど、何かしら負担がある場合に時間をかけずに移動をすることに利点があると感じている。

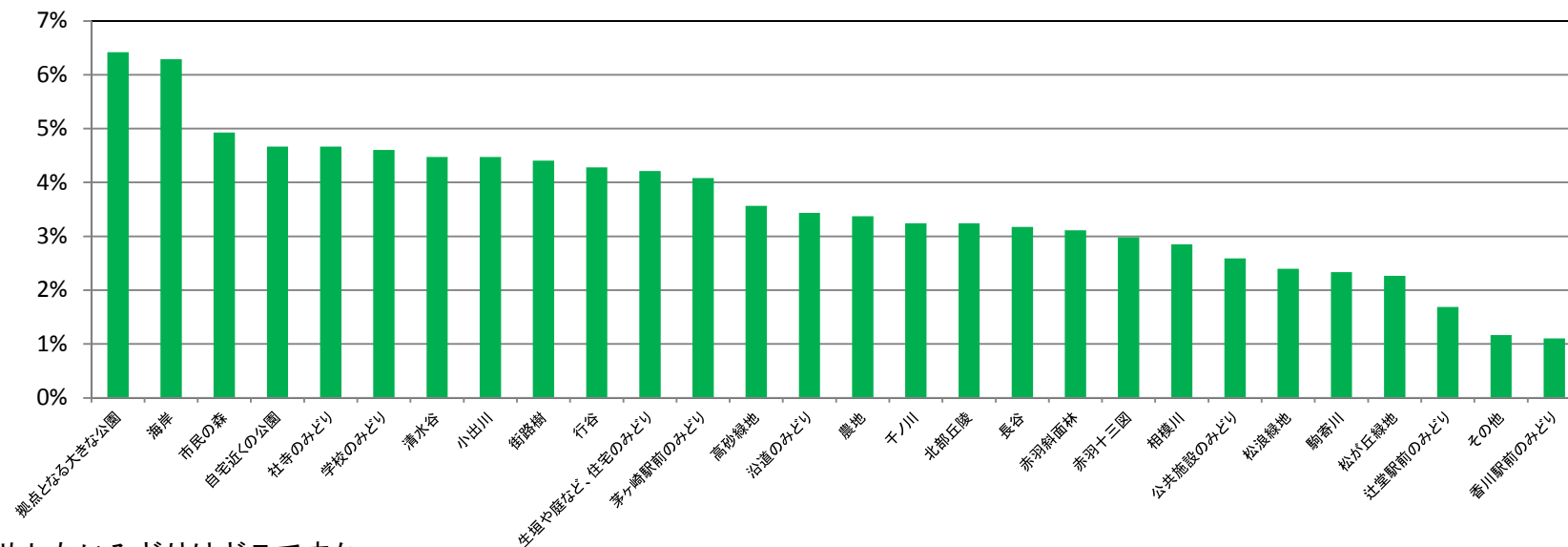
茅ヶ崎の中で守りたいみどりはどこですか。



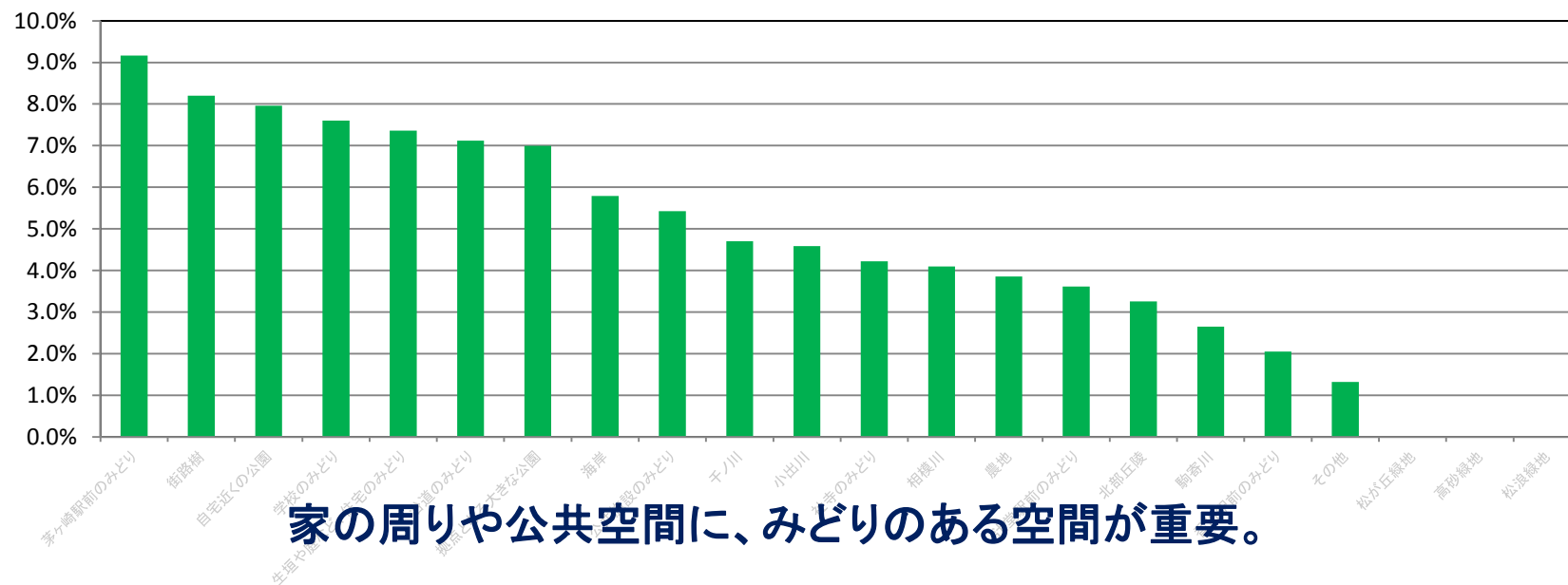
増やしたいみどりはどこですか。



茅ヶ崎の中で守りたいみどりはどこですか。



増やしたいみどりはどこですか。



家の周りや公共空間に、みどりのある空間が重要。

自然、みどりに関して市民討議会で出た意見

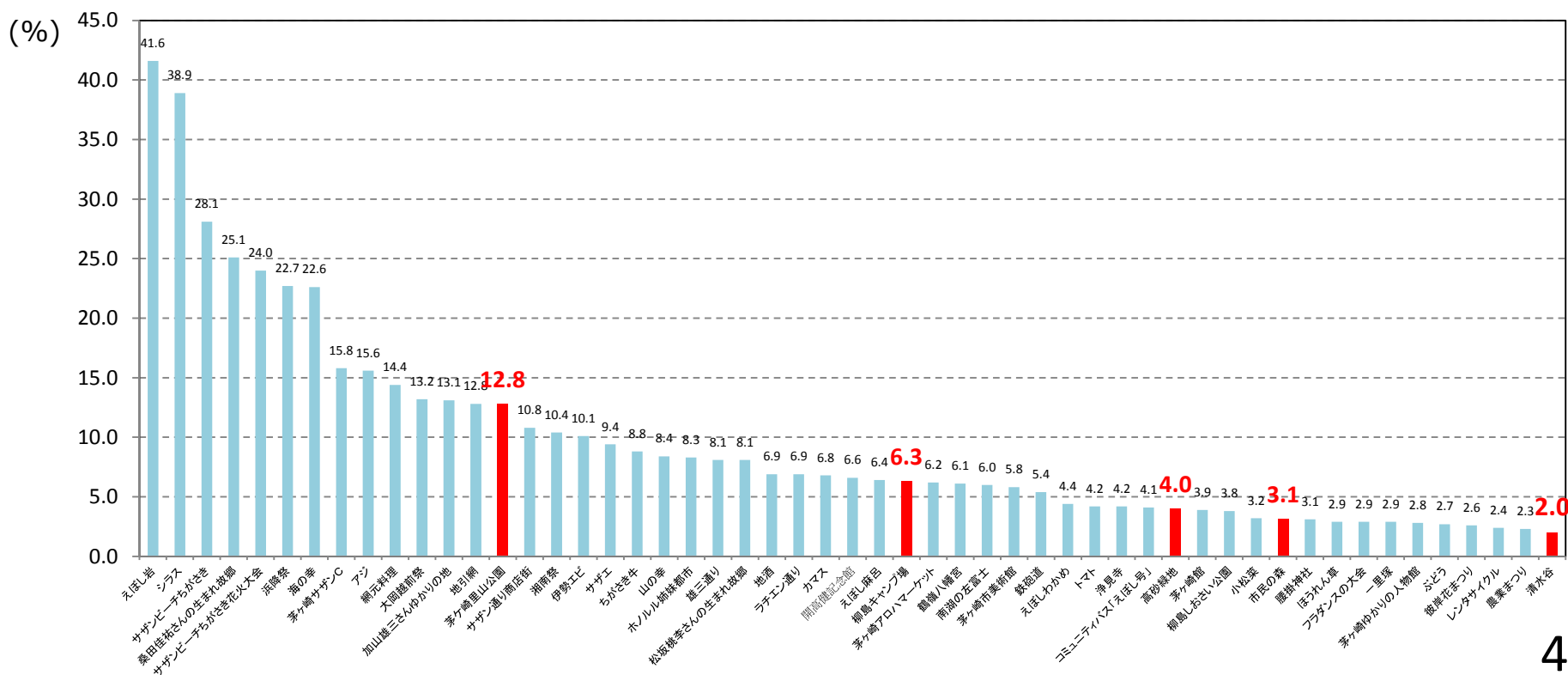
大切にしたい自然やみどり

国道1号線沿いの松並木、中央公園、里山公園、市民の森、氷室椿庭園、高砂緑地、生垣や庭先、畑や貸農園、小出川沿い、文教の森、赤羽根、砂防林、小さな緑地・公園

自然やみどりに触れ合う機会を増やすために

- ・自然やみどりをテーマにしたレクチャー、観察会
- ・清水谷がちょっと怖い（オープンな雰囲気づくりが必要）
- ・オープンガーデンのようなイベント
- ・情報や案内が足りないので、発信の仕方を工夫する。
（どこにどんな自然があるのか、季節に合わせたPR など）
- ・家庭菜園ができる場所（空き地の活用）

参考「茅ヶ崎」の名所や食べ物など、地域資源について、魅力に感じるもの（地域特性調査）



自然、みどりに関して市民討議会で出た意見

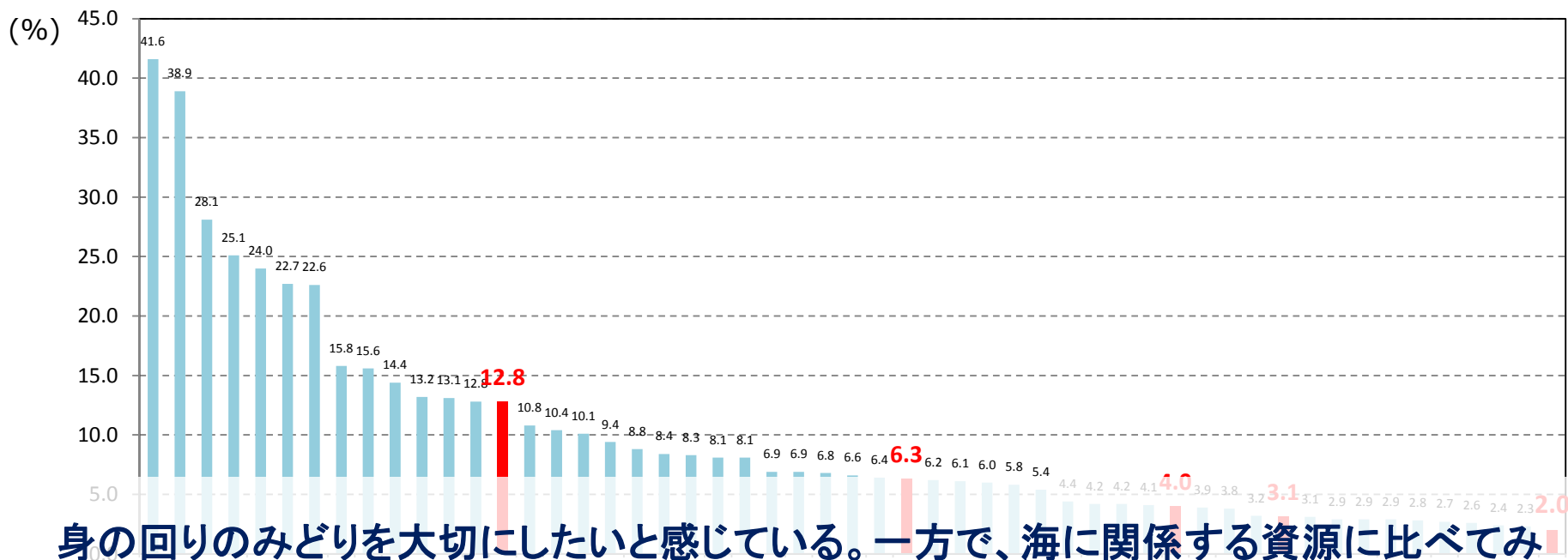
大切にしたい自然やみどり

国道1号線沿いの松並木、中央公園、里山公園、市民の森、氷室椿庭園、高砂緑地、生垣や庭先、畑や貸農園、小出川沿い、文教の森、赤羽根、砂防林、小さな緑地・公園

自然やみどりに触れ合う機会を増やすために

- ・自然やみどりをテーマにしたレクチャー、観察会
- ・清水谷がちょっと怖い（オープンな雰囲気づくりが必要）
- ・オープンガーデンのようなイベント
- ・情報や案内が足りないので、発信の仕方を工夫する。
（どこにどんな自然があるのか、季節に合わせたPR など）
- ・家庭菜園ができる場所（空き地の活用）

参考 「茅ヶ崎」の名所や食べ物など、地域資源について、魅力に感じるもの（地域特性調査）



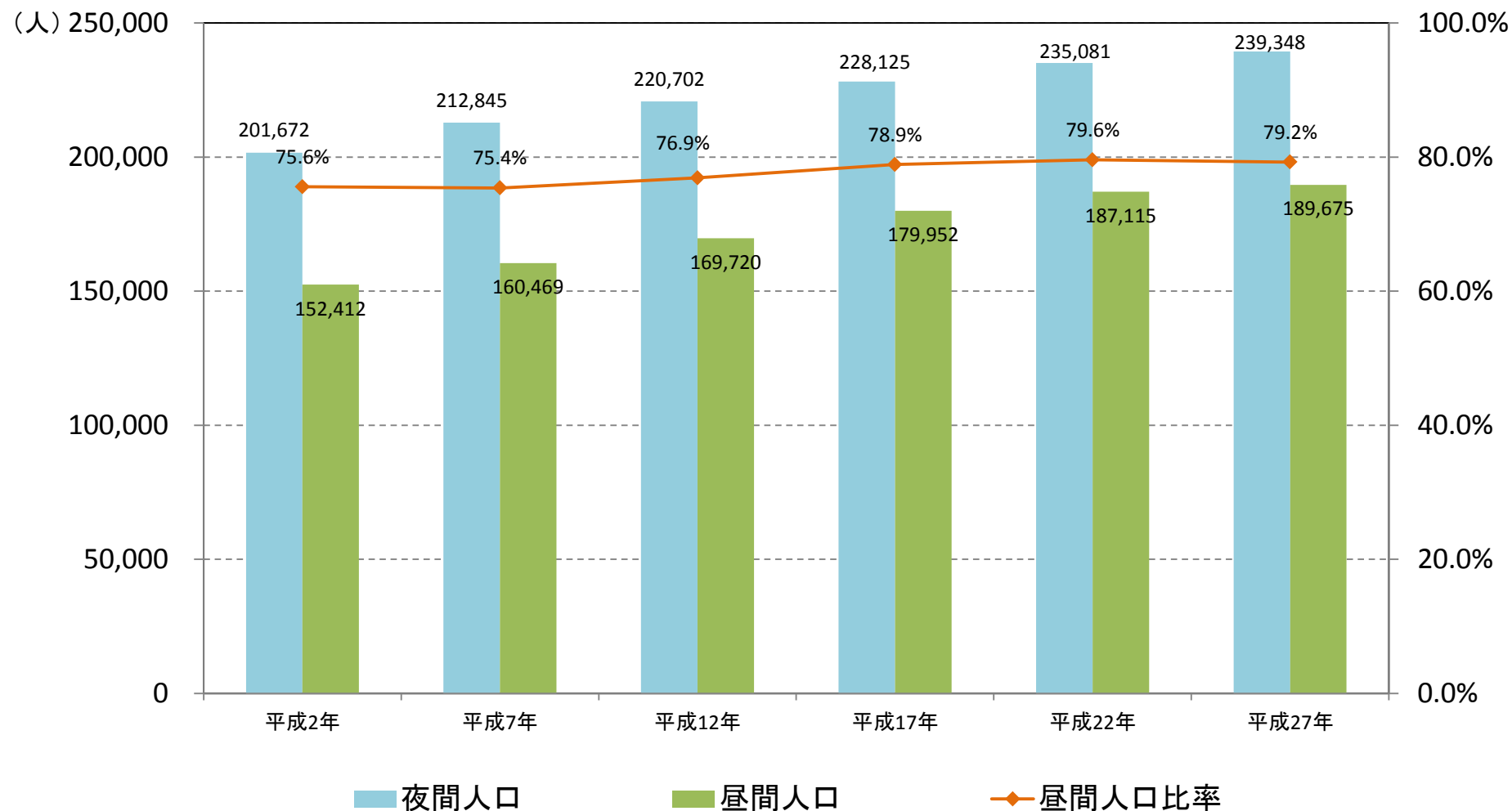
身の回りのみどりを大切にしたいと感じている。一方で、海に関する資源に比べてみどりに関わる資源の魅力が伝わっていない。自然やみどりが「魅力」と感じるためには、自然やみどりに触れ合う機会を創出することが必要。

生活の動向

- ・ 高齢化の影響もあり、昼間の時間帯に茅ヶ崎にいる人（昼間人口）の割合が増えている。より家に近い場所で、一日を過ごしていることが多くなっている。
- ・ 都内勤務の割合が徐々に減り、横浜市・川崎市、市内及び近隣市に勤務する割合が少しずつではあるが、増している傾向にある。今後は、より職住が近接してくる可能性がある。
- ・ 仕事や家事などの2次活動に割く時間が減り、個人のために割く時間が増えつつある。働き方改革等が進めば、時間の使い方が今後とも変化していく可能性がある。



高齢化や働き方の変化により、個人のために割く時間が徐々に増えていく



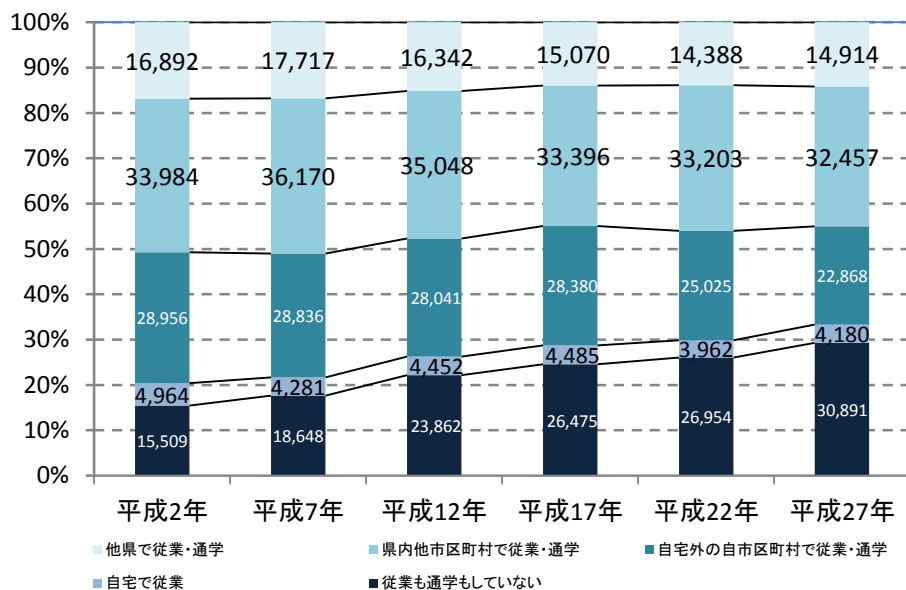
**昼間人口は増加の傾向。今後も高齢者数は増加することが予測されるため、
昼間人口は増加していくものと考えられる**

昼間人口：外からの通勤・通学者を含む、昼間の時間帯に当該地にいる人口
夜間人口：当該地に常住している人口

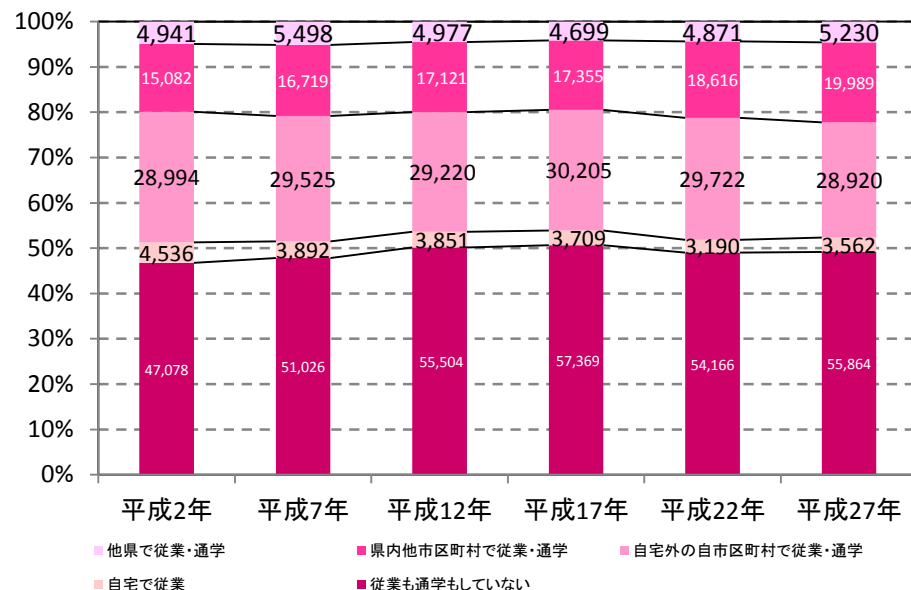
従業・通学地

資料：国勢調査、大都市交通センサス

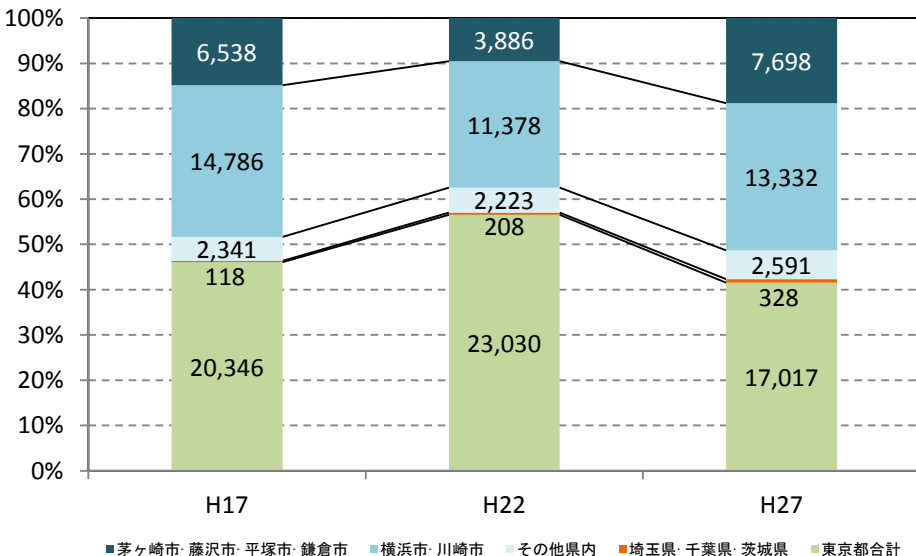
男性(従業・通学地)



女性(従業・通学地)



茅ヶ崎市在住の方が勤務している場所



県内(横浜、川崎)、近隣市に従業・通学する割合が大きくなりつつある

市内在住 男性

- ・従業・通学していない者が増加。また、他県で通学・通勤者が減少。

市内在住 女性

- ・従業・通学していない者は約5割。自宅、市内、県内勤務は約5割弱。

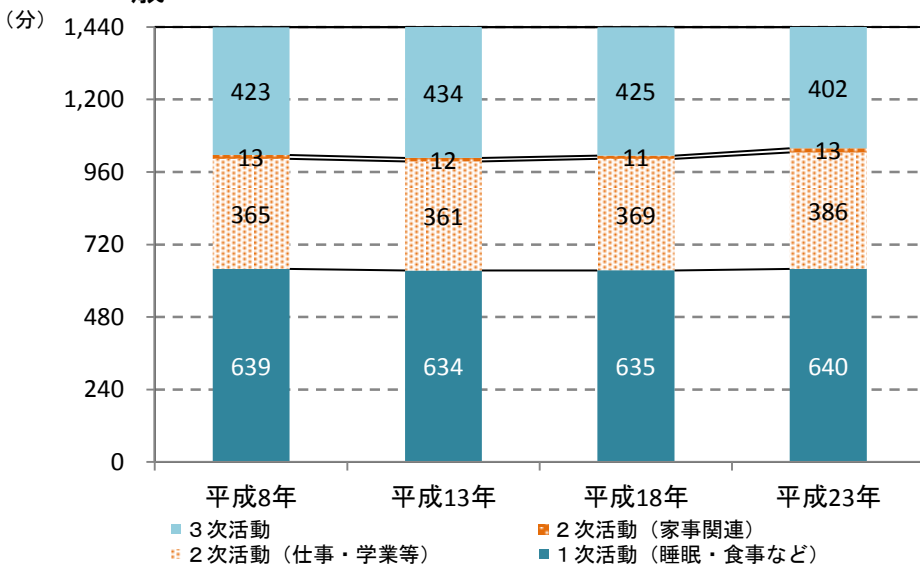
勤務場所

- ・都内勤務の割合が減り、横浜市・川崎市、市内及び近隣市に勤務する割合が増している傾向にある

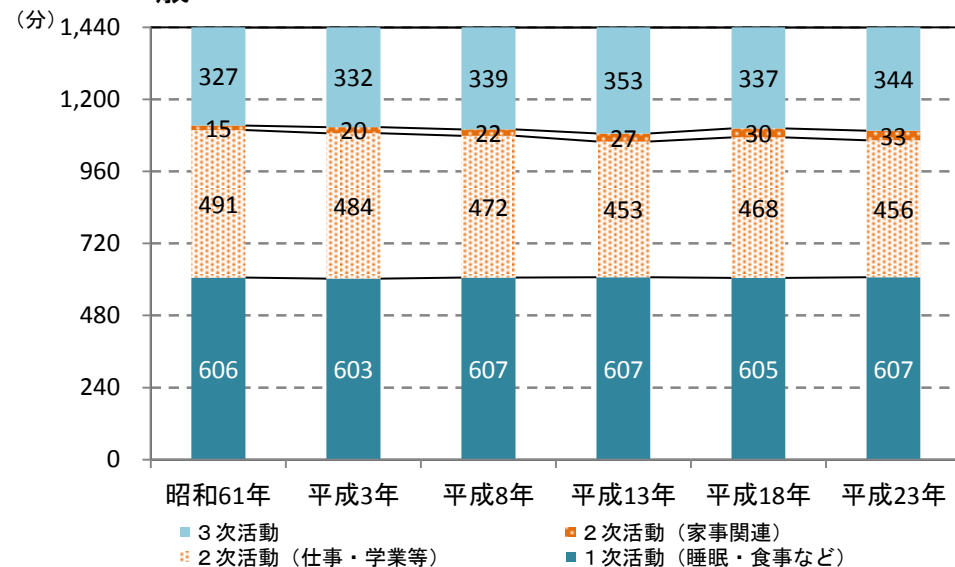
行動の種類別総平均時間の推移（平日・男性）

資料：社会生活基本調査

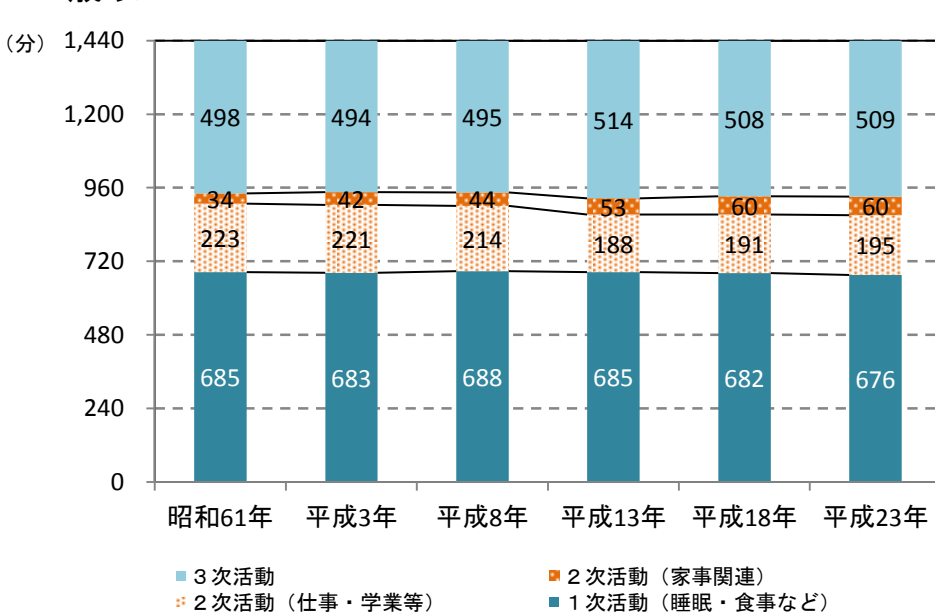
0～19歳



20～59歳



60歳以上



20歳未満は、学業に費やす時間が多くなっている。

20歳以上は、仕事・学業に費やす時間が減少傾向にあり、家事と3次活動に費やす時間が多くなっている。

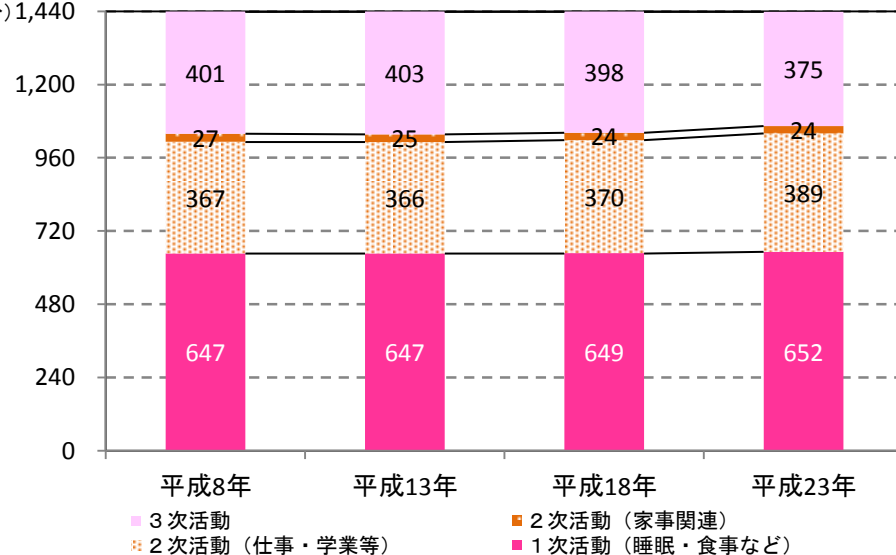
※1,440分＝24時間

行動の種類別総平均時間の推移（平日・女性）

資料：社会生活基本調査

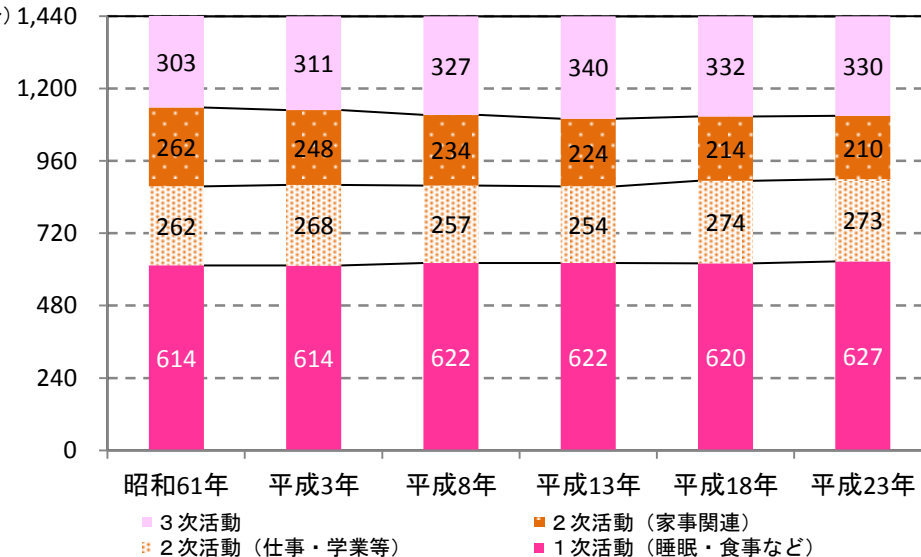
0～19歳

(分) 1,440



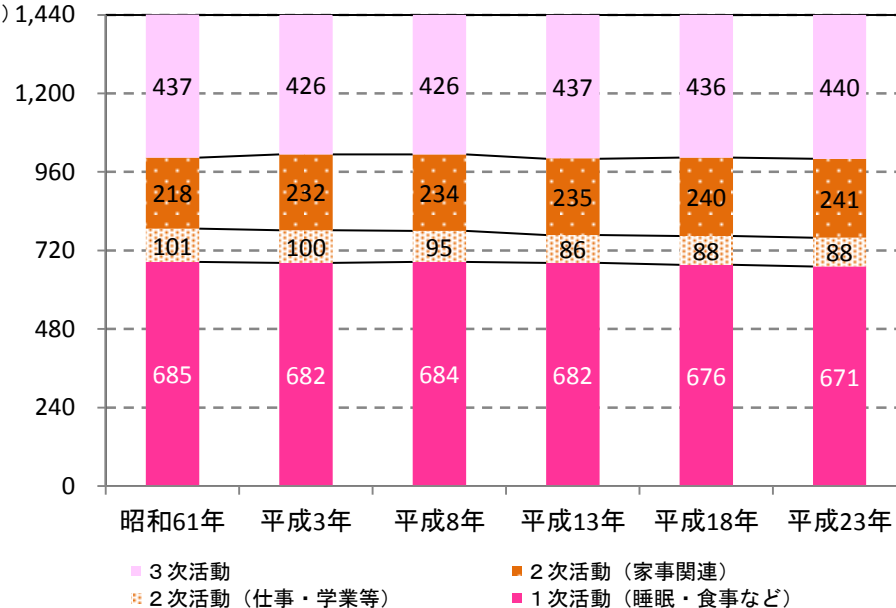
20～59歳

(分) 1,440



60歳以上

(分) 1,440



20歳未満は、学業に費やす時間が多くなっている。

20～59歳は、家事に費やす時間が減少し、仕事や学業、3次活動に費やす時間が増加している。

20～59歳は、仕事や学業に費やす時間が減少し、家事及び3次活動に費やす時間が増加の傾向にある。

※1,440分＝24時間

今後のまちづくり（改定のポイント）

茅ヶ崎らしさとは

歩きや自転車での移動が多いように、
まち全体がコンパクトなため、自然、駅周辺、商店、住宅等の互いの距離が近いのが特徴的。
時間等をそれほど気に掛けず、まちの要素を気軽に楽しめるのが茅ヶ崎の魅力。

「人とまちの距離がちょうどよい。」(案)

茅ヶ崎は都心からも近い、小さな街。
この街に自然やお店など色々なものが詰め込まれている。

食事をしたい、買い物がしたいと思えば、おいしい食事や買い物する場所が近くにある。
サーフィンや里山散策したいと思えば、海や里山が近くにあるから、すぐに行ける。
1日あれば、茅ヶ崎のまるごとを味わえる。

思いついたら、気軽に行けて、ゆったりと過ごせる茅ヶ崎。



基礎調査からの考察

内外から見て共通する茅ヶ崎のイメージ

「自由な」、「明るい」、「ゆったりとした」

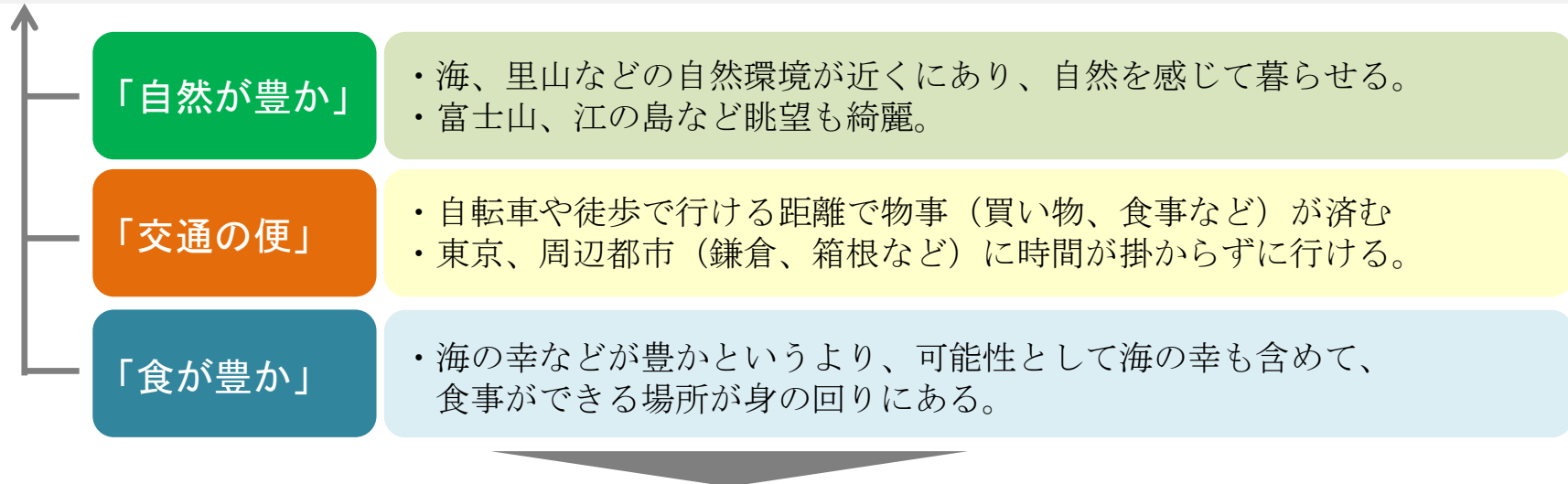
調査で共通するキーワード

市民満足度調査など複数の調査で共通して、茅ヶ崎の魅力と評価された点。

「住み心地（居住環境）」 「交通の便（買い物が便利）」 「自然が豊か」 「食が豊か」

「住み心地（居住環境）」

自然と都市的機能を併せ持ち、気軽に行ける距離にある



自然と都市が併せ持つ環境で生活している人の姿やまちの雰囲気から
「自由な」、「明るい」、「ゆったりとした」といったイメージを醸成させている

暮らし、移動、自然・みどりに関する利点と課題

暮らし

- ・ 都会でも田舎でもない程良い環境に対して魅力を感じている。
- ・ 誰と、どこで過ごすかは人それぞれ。徒歩、自転車で、落ち着いたたり、ホッとしながら過ごしている(北部は、車での来訪が多い)。
- ・ 徒歩や自転車で行ける距離にあるゆえに、より良い移動環境や公共空間の必要性を感じている。子育ての環境を充実。

移動

徒歩 自転車

- ・ 時間を気にせずに自由にどこでも行けることや、自然やまちの空気を感じながら、移動自体を楽しめることに、徒歩・自転車の魅力を感じている。
- ・ 休めるベンチがほしい、駐輪場が少ない、自転車のルール・マナーが悪い
自転車レーンがもっとほしい

バス 車

- ・ 荷物や多いこと、子どもがいるなど、何かしら負担がある場合に時間をかけずに移動することに利点があると感じている。
- ・ 案内やルートが分かりにくい、バス停に屋根やベンチがほしい、
駐車場が少ない

みどり

- ・ 家の周りや公共空間に、みどりのある空間が重要。
- ・ 海に係する資源に比べてみどりに関わる資源の魅力は低い。
自然やみどりの「魅力」を感じられると環境や機会が必要。

今後のまちづくり（改定のポイント）

自然と都市的機能を併せ持ち、気軽に行ける距離にある

- ・都心まで時間的に遠くない距離にありながら、海や山などの自然環境と、都市機能を併せ持っている。
- ・自然や都市的機能が、普段の生活の中で感じられる距離（徒歩や自転車圏）にある

高齢化や働き方の変化により、個人のために割く時間が徐々に増えていく

- ・昼間の時間帯に茅ヶ崎にいる人割合が増えている。より家に近い場所で、一日を過ごしていることが多くなっている。
- ・都内勤務の割合が徐々に減り、横浜・川崎、市内及び近隣市に勤務する割合が少しずつではあるが、増している傾向にある。今後は職住が近接する可能性がある。
- ・仕事や家事などに割く時間が減り、個人のために割く時間が増えつつある。働き方改革が進めば、時間の使い方が今後も変化していく可能性がある。

今後のまちづくり

防災・防犯などまちの安全・安心は、これまでと同様に重要である。加えて、今後のまちづくりは、自然や街なかで活動しやすい環境を整えることで、人々にとって、茅ヶ崎が価値ある街になる。

その効果

人とのつながり、健康づくり、消費活動、交流人口の増加 など

今後のまちづくり（改定のポイント）

防災・防犯などまちの安全・安心は、これまでと同様に重要である。加えて、今後のまちづくりは、以下の3つの事項を踏まえ、自然や街なかで活動しやすい環境を整えることで、人々にとって、茅ヶ崎が価値ある街になる。



自然環境と都市機能がまとまった都市構造とすること

- ・ 自然環境、行政・商業業務機能が備わる拠点や日用品を買うことができる場所まで、徒歩や自転車で行けるように、集約した都市構造を形成すること。
- ・ 建築や人口密度の高めるだけでなく、人が行きたくなるような通りや都市拠点をつくること

楽しく、リラックスして過ごせる空間

ユニバーサルデザインに配慮すること前提に、学習や交流など人々の営みを考えながら、楽しく、リラックスして過ごせる屋外の空間づくり（公園、道路、施設など）を進める。

街なかの移動も楽しめること

徒歩や自転車で安全に移動ができるように、歩行空間や自転車走行環境等を整えていくとともに、民有地や通りなどに四季の移ろいを感じる花や木、魅力的なサインやストリートファニチャー等があると、移動の楽しみが増やす。

参考

転入した理由

- ・家賃が藤沢より安い。
- ・結婚して、子供が生まれ、自然がいっぱいあるところがいいと思った。駅近でマンションが安く、生活する上で徒歩圏で済む。
- ・藤沢、平塚なども候補だったが、駅前の印象や治安も考えて、茅ヶ崎にした。
- ・都内は、ベビーカーのすれ違いなども難しく、子育てするのは難しいと思い、色々探して茅ヶ崎にした。

抱いていた印象と住んだあとに感じたギャップ

- ・都内に住んでいた時は時間に追われていたが、**茅ヶ崎の人はゆっくりしていて、時間に対する考え方が違う。**
- ・交通網が不便と思っていたが、**バスもあり、自転車で十分にどこでもいけるので意外と便が良かった。**
東京から遠いというイメージがあったが、乗換なしで東京駅・新宿駅にも行けるので遠くはなかった。

住んでいて良いと感じたこと

- ・ラフな格好で歩いて、**肩ひじ張らずに、油断していてもいい。**
- ・徒歩で買い物や役所などがあり、**コンパクトにまとまっている。**
- ・**ほどよく自然があり、都会ではないけど便利**で物は揃う。
- ・**子供が小さくても受け入れてくれる雰囲気**のある店が多い。都内はウェルカムという雰囲気があまりない。

住んでいて改善が必要と感じたこと

- ・**ちょっと遊びにいく広場や公園がない。**立派な遊具はなくて良いから、ボール投げができたり、自転車でグルグル回れたり、木があつたり、簡単なトイレがある広場があつたらいい。
- ・子どもがいるので、**道の狭さは気になる。自転車がなくて、怖いと感じる**ことがある。
- ・狭い道に外から来た人の車が入ってくると、とてもやりにくい。
- ・**北部の方にも、面白い何かがあればいい。**
- ・**子どもや犬と一緒に寄れるようなカフェがあればいい。**
- ・**医療補助の面では、藤沢の方がよく、茅ヶ崎は遅れている。**

転入した理由

- ・横浜か藤沢と考えていたが、子育ての面で家賃も高く、手狭になり、こちらに来た。
- ・辻堂が良かったが、手が出ないから、近い茅ヶ崎にした。
- ・主人が自然があるところがいいというや、そこそこの繁華街がある茅ヶ崎にした。
- ・母親が一人になったので、母親とゆっくりと子育てをしようと考えて戻った。
- ・海がある場所が良いと思ったから。
- ・駅前を見たら、飲食店やスーパー、ドラッグストアもあるので生活しやすいと思ったから。

抱いていた印象と住んだあとに感じたギャップ

- ・海にも行けるし、山にもいける。緑が多いというイメージはなかったが、住んでみると緑が多い。
- ・チェーン店が少ないし、個人がやっているお店が海側に多い。
- ・「茅ヶ崎」＝「湘南、サザン、おしゃれ」というイメージがあるが実際はそれほどでもないが、イメージが良いことは良い。
- ・意外と田舎だと思った。観光地っぽくなく、のんびりしていていいなと思う。

住んでいて良いと感じたこと

- ・家の周りでだいたいのことが済む
- ・テラスモールやららぽーとが近い。公園、プールもあって充実している。
- ・里山公園はお弁当を持って、遊びに行けるからいい。また、一年中イベントがあるのでいい。
- ・高い建物がなくて、空が広いこと。

住んでいて改善が必要と感じたこと

- ・自転車が多く、運転の仕方がひどい。
- ・道路の整備が追い付いていないから、外観が悪い。電線を埋めるのは大変だけど綺麗になればと思う。
- ・子どもが遊べるフリースペースが少ない。子どもの遊び場と親に息抜きができる場が必要。週何日とか限定ではなく、ずっと開放してほしい。
- ・保育園や幼稚園が少ない。
- ・医療費支援を充実してほしい。子どもの検診やワクチンが打てる場所がひとつしかない。
- ・たばこのポイ捨てをもう少し働きかけてほしい。禁煙エリアが茅ヶ崎にはない。
- ・市民農園や田んぼがあるが、緑地が減っていくのを見るのが悲しい。

転入した理由

- ・東京に行くときの距離と動きやすさ（交通の便）。
- ・都会はもう十分で、都会でも田舎でのないところを探していて、土地勘があった茅ヶ崎にした。
- ・たまたま転居先があった。都内に通うのはこれ以上西は限界と思ったから。
- ・社会人になって結構するまで茅ヶ崎にいたから。
- ・海のそばで、田舎過ぎず、人も多くないところを探して茅ヶ崎にした。

抱いていた印象と住んだあとに感じたギャップ

- ・山、川、海もある。風が良い。
- ・気さくでオープンな感じがする。
- ・気候が思いのほかいい。
- ・道路が狭さ。歩いていて、怖い時がある。

住んでいて良いと感じたこと

- ・南側は飲食チェーン店が少ないのがいい。
- ・鎌倉に比べて海が広い。茅ヶ崎ならではのビーチ文化がちゃんとつくっていて面白い。
- ・富士山や箱根までの眺望が見えるのはこの辺り。
- ・茅ヶ崎自体に観光地はないが、江の島、箱根、埼玉までそれほどかからずに行けるのが良い。

住んでいて改善が必要と感じたこと

- ・コミュニティバスの利用環境が良くない。
- ・道の駅とかできて、観光客があまり来ると考えると将来的に困る。
- ・もっと海を活用したらいい。
- ・保育園事情が非常に良くない。
- ・道が狭いので、火事が起きたらと思うと不安。

転入した理由

- ・茅ヶ崎か平塚で、ペットがOKなところを探していた。
- ・藤沢も便利だと思ったが地価が高かった、相模川を越えたくなかったので茅ヶ崎にした。
- ・老後は海のそばと考えていた。
- ・茅ヶ崎の雰囲気がのんびりしていていいと感じて、タイミング良くマンションが見つかった。駅前だけどのんびりしていて良い。

抱いていた印象と住んだあとに感じたギャップ

- ・歩いて、スーパーにも駅にも出られる。駅前からバスが頻繁に出ているので利便性は良いと感じた。
- ・高い建物がなくて、空が広く見える。ちょっと行けば海があるし、富士山が大きく見える。
- ・気候が温暖で、暑からず寒からず、窓を開けて大丈夫な時期が長い。
- ・自転車の多さに驚いた。運転がとても危険。
- ・裸の人が多い。

住んでみて良いと感じたこと

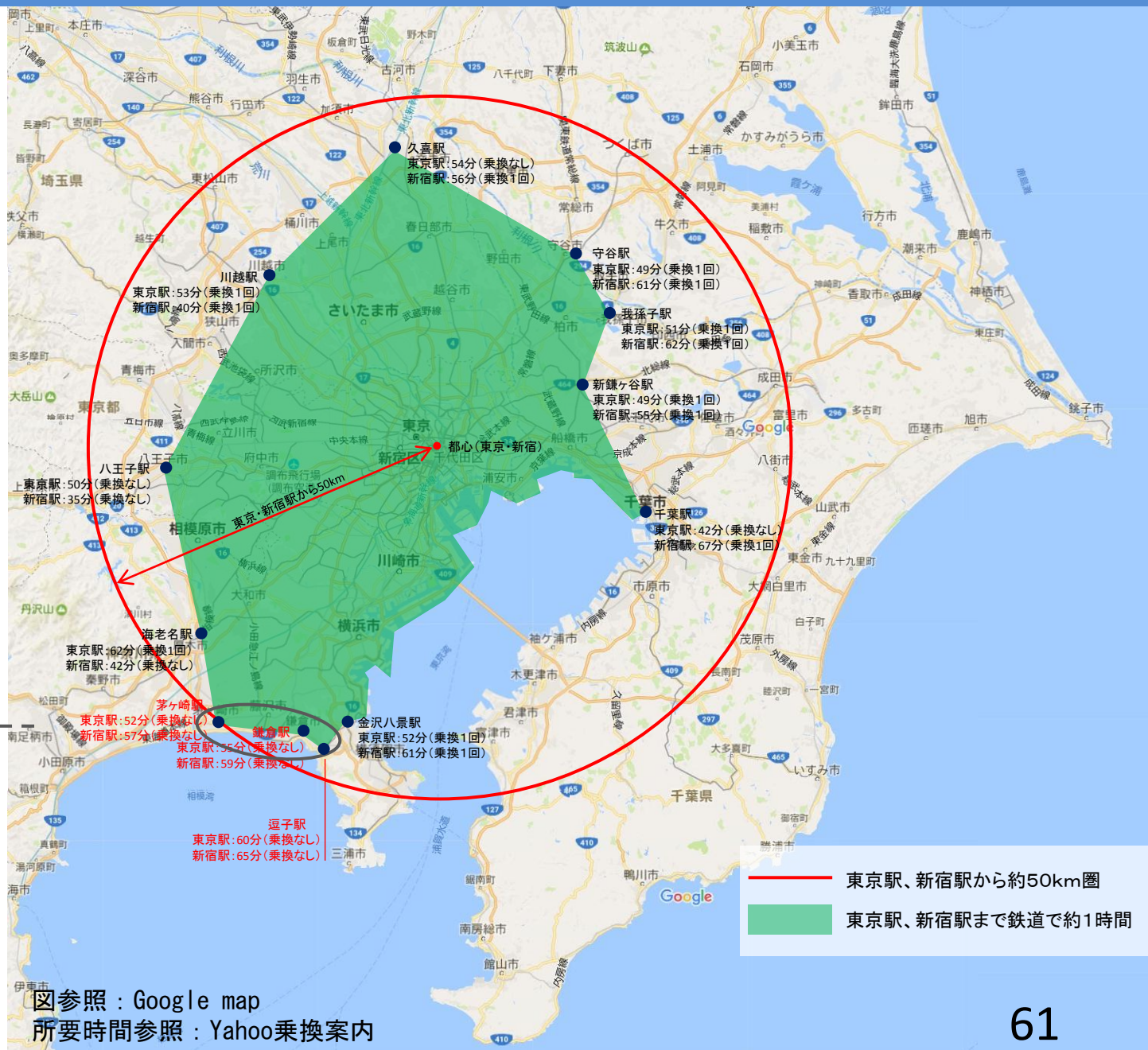
- ・これとってないけど、何も目指さない心地よさが割と好き。
- ・歩いて、駅や海まで行けるのが良い。
- ・おっとりしていて良い。
- ・北部に遺跡があって、鎌倉に似ていると思った。鎌倉のように歴史的なものをもっと活かしてほしい。何かあるぞというのが分かれば、意識のある人が自然に集まると思う。

住んでみて改善が必要と感じたこと

- ・自転車のマナーの悪さ。
- ・海でウォーキングをするので、デザイン性があり、安心できるトイレが海岸にあるといい。
- ・家のみどりが街並みを構成しているので、減っていくのが残念。
- ・健康診断の検査項目は、藤沢の方がすごく多く、茅ヶ崎は少ない。
- ・体を動かせる施設などがもっとあればよい。昼間の図書館は座れる場所がない。
- ・外部から人を呼び込むという発信力が弱い。サザン、加山雄三頼みのところがある。外国人向けのパンフレットが湘南にはない。

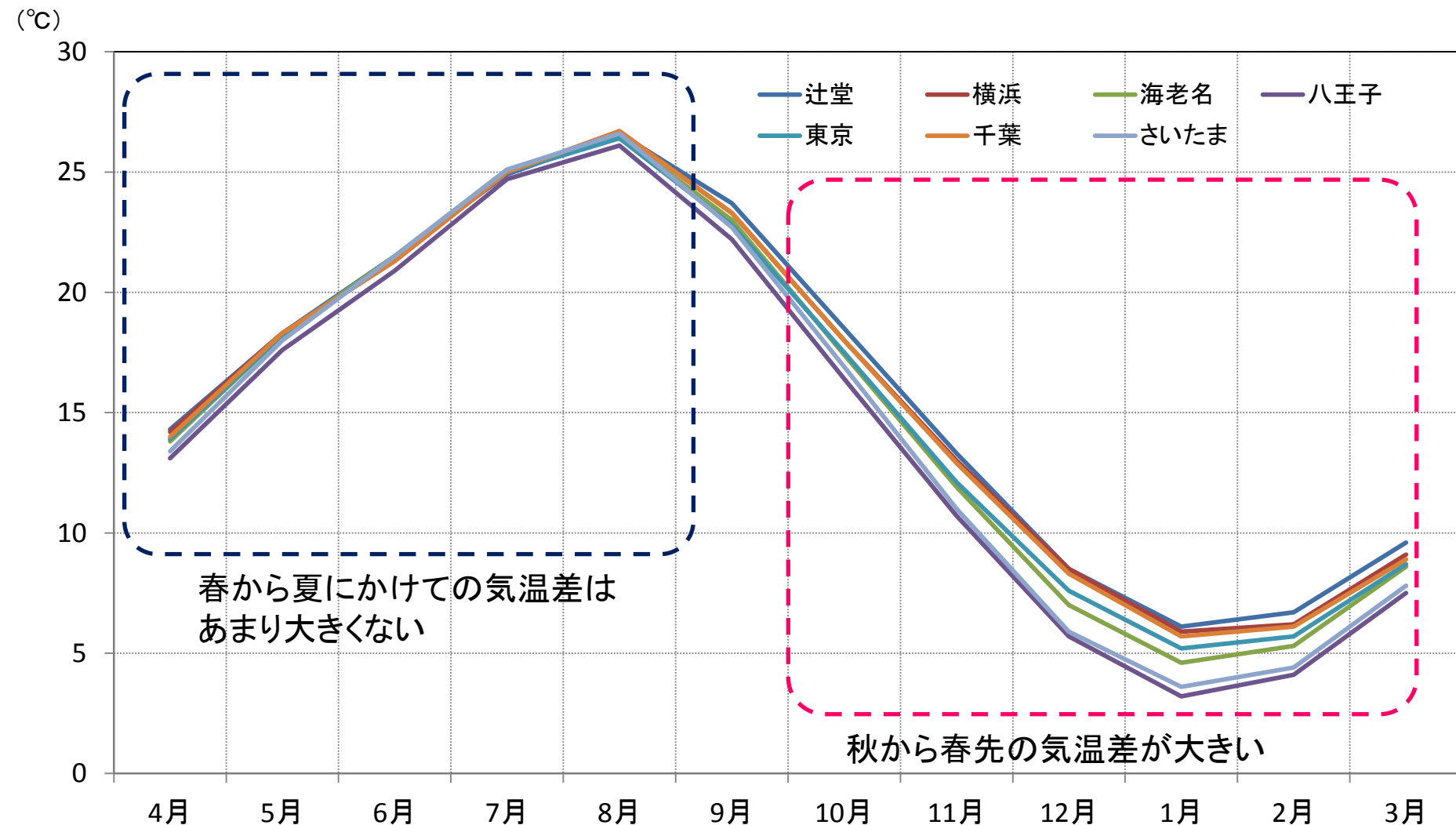
東京・新宿駅までの時間
距離が、約1時間以内で

自然の海や山がありながら
都市の生活を送れる
まちは、茅ヶ崎、藤沢、
鎌倉、逗子



年間の平均気温

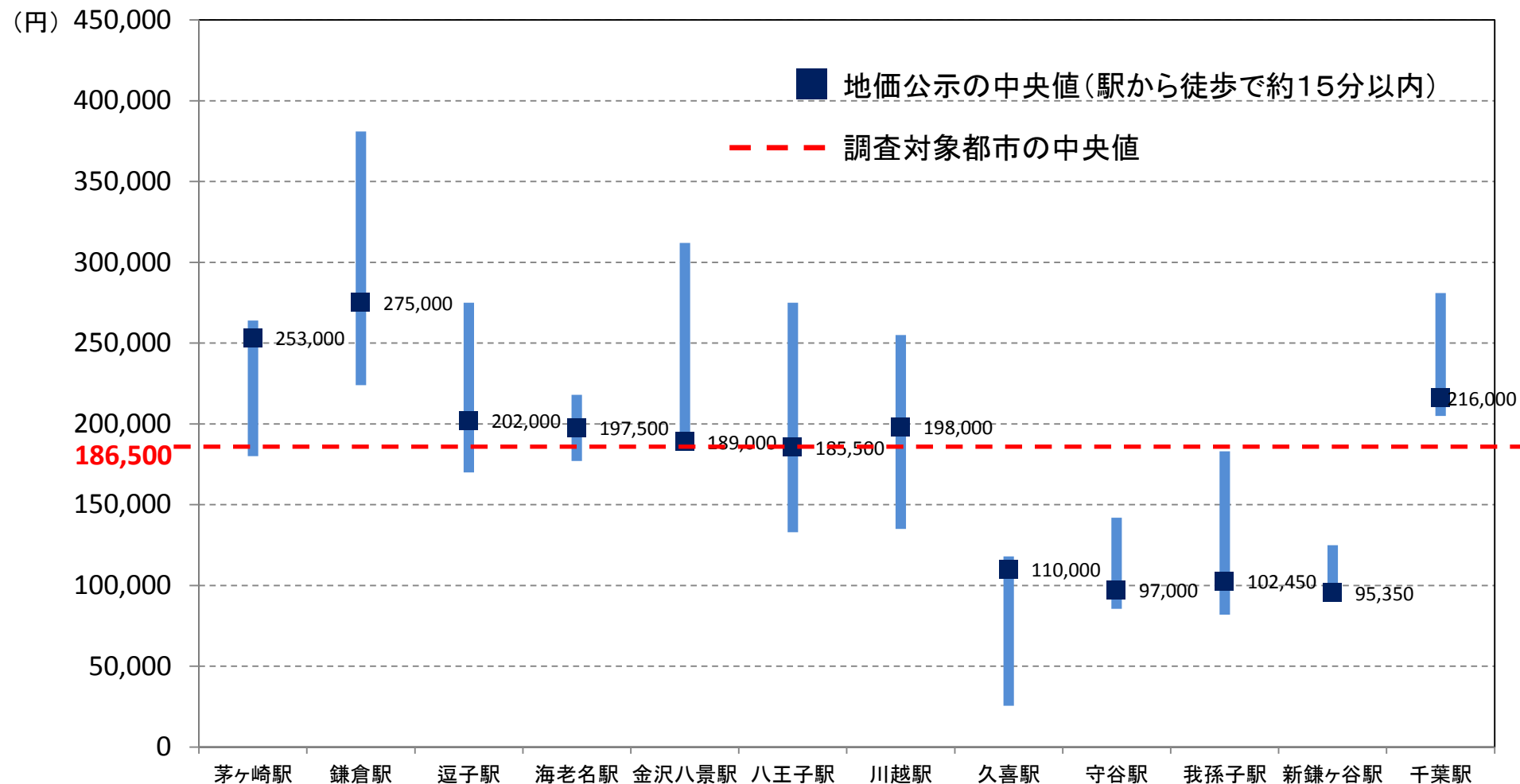
資料：気象庁気象観測所データ



基礎調査で見られた「温暖な気候で住みやすい」「住み心地がよい街」という評価は、首都圏内の都市で茅ヶ崎の平均気温が年間を通じて高いことが要因のひとつと考えられる。特に秋から春先は、内陸側の都市と比べて約2～3℃高い。

参考 住宅地の地価公示※の比較

(各駅から徒歩で約15分以内(距離 1,500 m以内))



※地価公示とは、地価公示法に基づいて、国土交通省土地鑑定委員会が、適正な地価の形成に寄与するために、毎年1月1日時点における標準地の正常な価格を3月に公示(平成29年地価公示では、26,000地点で実施)するもので、社会・経済活動についての制度インフラとなっている。

主な役割

一般の土地の取引に対して指標、不動産鑑定の規準、公共事業用地の取得価格算定の規準
土地の相続評価および固定資産税評価についての基準、国土利用計画法による土地の価格審査の規準 等